

令和4年度

国分寺市子ども若者・子育て
いきいき計画
(実施状況)

国分寺市子ども家庭部
子ども若者計画課

もくじ

①	計画の位置づけ，体系図，評価方法	1
1	国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の位置づけ	2
2	国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の体系図	3
3	国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画の評価方法	4
②	国分寺市子ども・子育て会議答申書	5
③-1	評価方法，評価の概要（計画第4章評価部分）	7
③-2	施策評価書（計画第4章評価部分）	13
	基本目標Ⅰ - 施策（1）	14
	- 施策（2）	24
	基本目標Ⅱ - 施策（1）	30
	- 施策（2）	36
	- 施策（3）	40
	- 施策（4）	52
	基本目標Ⅲ - 施策（1）	64
	- 施策（2）	76
	基本目標Ⅳ - 施策（1）	82
	- 施策（2）	90
	- 施策（3）	104
④-1	子ども・子育て支援事業計画評価書（計画第5章評価部分）	109
④-2	子ども・子育て支援事業計画実績値等（計画第5章評価部分）	113



計画の位置づけ，体系図， 評価方法

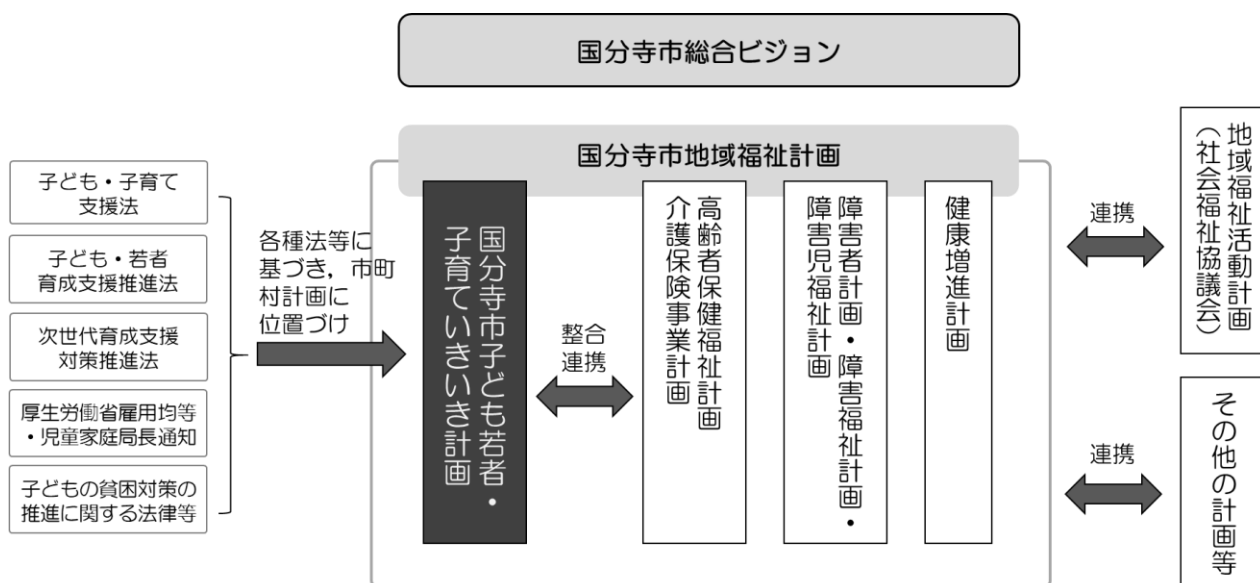
国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（以下「本計画」といいます。）は、「国分寺市地域福祉計画」の子ども分野に係る計画として位置づけられ、本市における今後の子ども・子育て・若者支援施策の具体的な方向や取組内容について定めるものです。

また、本計画は、子ども・子育て支援法第61条に基づく「市町村子ども・子育て支援事業計画」、子ども・若者育成支援推進法第9条第2項に基づく「市町村子ども・若者計画」を包含するとともに、次世代育成支援対策推進法第8条に基づく「市町村行動計画」、平成26年6月17日付雇児第0617第1号厚生労働省雇用均等・児童家庭局長通知に基づく「母子保健計画」として位置づけられるものです。

さらに、上記法律等に基づく計画の他に、子どもの貧困対策の推進に関する法律及び子どもの貧困対策に関する大綱を勘案した子どもの貧困対策に係る市の方針としての位置づけも含まれます。

なお、本市では、子ども・子育て・若者支援を推進する総合的な計画として、「国分寺市総合ビジョン」をはじめ、上記「国分寺市地域福祉計画」等の上位・関連計画と整合性・連携を図りながら、子ども・子育て支援施策や若者支援施策を進めていきます。

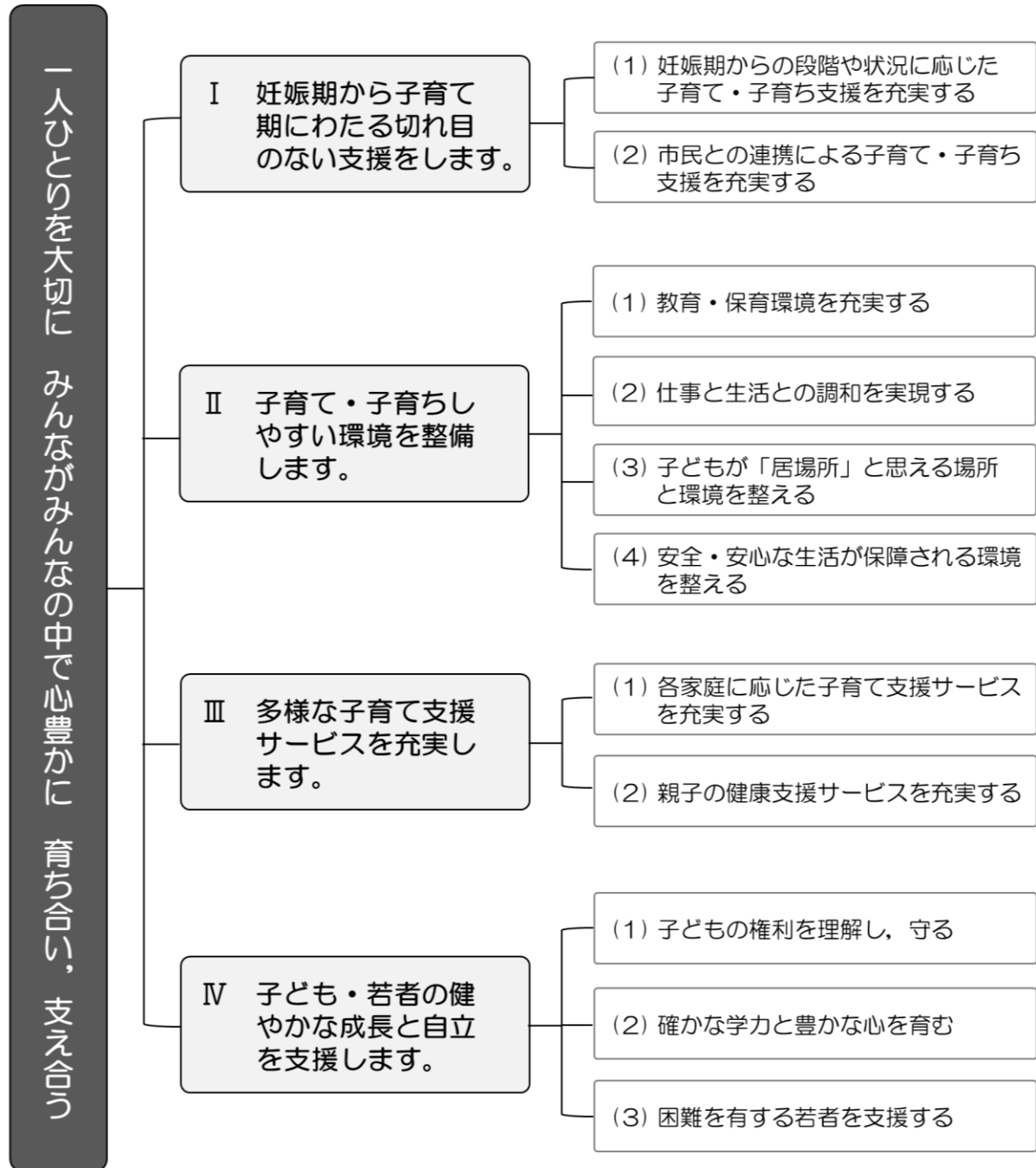
● 本計画の位置づけ（図解）



[基本理念]

[基本目標]

[施策]



● 第5章の本計画上のつながり

第5章では、主に子ども・子育て支援法第61条に基づく「子ども・子育て支援事業計画」として、同法に定められた事業等について、各年度の量の見込み及びその確保の方策等について記載（一部第4章にも記載しています。）しています。

(1) 市の評価の実施

本計画に掲げる事業について、当該事業の実施所管課が評価を行います。

なお、第4章に掲げている重点事業については、各施策の方向性に基づいて事業が実施されているかを確認し、その上で、各施策の進捗状況の評価を行います。

(2) 国分寺市子ども・子育て会議への諮問

計画の適切な進行管理を進めるため、本計画第6章に基づき、第4章における市の評価（各重点事業の実施状況も含みます。）及び第5章における実績値等（以下「本市評価」といいます。）を外部委員会へ提示し、意見を求めます。

本計画の評価においては、国分寺市子ども・子育て会議へ諮問し、意見をいただくこととされています。

(3) 国分寺市子ども・子育て会議の答申（評価）

国分寺市子ども・子育て会議は、本市評価に係る諮問を受け、答申（評価）を行います。

具体的には、同会議からの評価は、施策評価書（計画第4章評価部分）及び子ども・子育て支援事業計画評価書（計画第5章評価部分）の中の「国分寺市子ども・子育て会議の評価」部分に記載されます。

(4) 評価の確定

本計画の評価は、国分寺市子ども・子育て会議からの答申（評価）を経て確定します。

本計画に掲げる事業を実施している所管課は、自己評価及び同会議からの答申（評価）を踏まえた上で、各事業における取組の充実・見直しを行っていきます。



国分寺市子ども・子育て会議 答申書



答申第2号

令和5年11月27日

国分寺市長 井澤 邦夫 様

国分寺市子ども・子育て会議

会長 川喜田 昌代

答 申 書

令和5年7月21日付け諮問第1号により諮問のあった国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（令和2年3月策定）の実施状況について、国分寺市子ども・子育て会議設置条例（平成25年条例第55号）第3条の規定に基づき、下記のとおり答申する。

記

国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画（令和2年3月策定）における令和4年度の実施状況については、国分寺市の評価内容を確認し、別紙「施策評価書」及び「子ども・子育て支援事業計画評価書」中「国分寺市子ども・子育て会議の評価」に記載のとおり評価する。



評価方法，評価の概要
(計画第4章評価部分)

評価方法、評価の概要（計画第4章評価部分）

（1）重点事業の評価（3段階評価）／ 施策の方向性に係る実施状況

重点事業は、下表のとおり3段階で実施します。

また、所管課による重点事業の評価に併せて、施策の方向性に係る実施状況（施策の方向性に基づき各重点事業が実施されているかどうか）のヒアリングを実施し、確認します。

なお、施策評価書では、各施策に掲げる重点事業の実施状況を「個別事業の実施状況」としてまとめて記載します。

量的・質的実績評価基準		重点事業の評価基準	
a	令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。	A	令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
b	令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね [*] 達成した。	B	令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
c	令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。	C	令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。

※ 当該年度の目標値に対して80%以上の実績値であることを基準としています。

（2）施策の進捗評価（4段階評価）

重点事業の評価結果及び施策の方向性の実施状況から、施策の進捗状況の評価を下表のとおり4段階で実施します。

なお、施策の進捗状況の評価について特記すべきことがある場合は、その旨を加筆します。

施策の進捗評価基準
順調に進んでいる。
おおむね順調に進んでいる。
やや遅れが生じている。
遅れが生じている。

(3) 国分寺市子ども・子育て会議による答申（評価）

国分寺市子ども・子育て会議は、施策評価書に記載の個別事業の実施状況及び施策の方向性に係る実施状況を確認・評価した上で、施策の進捗状況の評価を行います。

同会議においても、(2)の4段階で評価（本市評価と同様であればその旨の記載に代えることも可）をした上で、特記すべきことがある場合は、その旨を加筆します。

(4) 各施策の評価概要(総括表)

達成状況		事業数	実績例
A	令和6年度の目標を達成した。 又は、令和6年度目標に向けた 令和4年度目標を達成した。	40	<ul style="list-style-type: none"> ● 児童館における行事の充実[通番21] 全児童館延べ来館者数：139,815人，全児童館行事実施回数：879回 各児童館において，新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に取り組みながら，読み聞かせや工作など各年齢や発達段階に応じた遊具や活動の場の提供を行った。また，毎月のおたよりやホームページでの周知を行った。 ● 乳幼児母性健康相談[通番38] 乳幼児母性健康相談：9回実施，来所者数延べ210人，保健センターミニ相談会：21回実施，来所者数延べ126人，安心して身近な場所で市民が専門職に相談できるよう，乳幼児母性健康相談は一部(計測)については，予約なしでも来所できるように工夫したほか，オンライン相談も実施することで来所が難しい場合でも相談を受けることが可能となった。各種相談を実施することで，育児に対する不安軽減となっている。
B	令和6年度目標に向けた令和4 年度目標をおおむね達成した。	20	<ul style="list-style-type: none"> ● 保育コンシェルジュ事業[通番5] 情報の集約・提供，相談，利用支援等を行うことにより，教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートした。また，障害がある児童や医療的ケアが必要な児童の入所申請には，希望施設と連絡調整を実施し，見学の日程調整・同行見学を行うなどして，利用者に寄り添ったサポートをした。 ● 放課後子どもプラン [通番27] 新型コロナウイルス感染症の影響で一斉休止する期間がなかったことで，実施日数が前年度に比べ42.5%増となった。 基本的な新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた上で，子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供した。
C	令和6年度目標に向けた令和4 年度目標を下回った。	3	<ul style="list-style-type: none"> ● 学童保育所整備事項 [通番15] 計画に基づき，公設学童保育所の狭隘を解消するため，どのような学童保育所を求めているのかを事業者に明確に示し，公募を行ったが，学童保育所を整備できる物件が無く，公募はなかった。 ● 病児・病後児保育事務事業 [通番39] 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため，利用は激減したが，病児・病後児保育に従事する職員が研修を受講することにより質の高い病児・病後児保育を実施するための支援ができた。

(5) C評価「令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。」

基本 目標 / 施策	通番	事業名	4年度 所管課	令和6年度目標		令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		令和4年度実績		令和4年度実績に係る評価及び課題			
				量的	質的	量的	質的	量的	質的	量的		質的	
										評価	評価理由等	評価	評価理由等
Ⅱ (1)	15	学童保育所整備事業	子ども若者計画課 子ども子育て支援課	【公設】2箇所(4施設)整備 【民設】子ども・子育て支援事業計画に基づき各年度整備する。 【一休型の事業量】8校区(15施設)	【公設】学校敷地内に学童保育所を新設し、放課後子どもプラン(放課後子供教室)を一体的に実施することで、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設の学童保育所の狭隘状況が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。	【公設】三小・十小に新設する公設学童保育所の基本設計及び実施設計並びに施設整備に係る補助金の申請を進める。 【民設】子ども若者・子育ていきいき計画(第5章子ども・子育て支援事業計画)に基づき、施設整備を行う。(定員45人×2施設)	【公設】学童保育所と放課後子どもプランとの連携を一層強化していきながら、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設学童保育所の狭隘が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。	【公設】三小・十小に新設する学童保育所の基本設計及び実施設計を完了させ、施設整備に係る補助金の申請を行った。 【民設】公設学童保育所の狭隘を解消するため、学童保育所設置事業者の公募を行ったが、学童保育所を整備できる物件が無く、事業者からの応募が無かった。	【公設】三小・十小に新設する学童保育所の基本設計及び実施設計にあたっては、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動に必要な専用区画や設備等を備えた施設になるよう工夫を行った。 【民設】子ども若者・子育ていきいき計画(第5章子ども・子育て支援事業計画)に基づき、公設学童保育所の狭隘を解消するため、どのような学童保育所を求めているかを学童保育所設置事業者に明確に示し、公募を行ったが、学童保育所を整備できる物件が無く、応募はなかった。	c	【公設】三小・十小に新設する学童保育所の基本設計及び実施設計を完了させ、施設整備に係る補助金の申請をするなど、令和7年4月1日の開設に向けて順調に事務を進めた。 【民設】学童保育所の施設整備を行うことができなかった。	c	【公設】三小・十小に新設する学童保育所について、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動に必要な専用区画や設備等を備えた施設となるような基本設計及び実施設計を行った。 【民設】学童保育所の施設整備を行うことができなかった。
Ⅱ (3)	31	自主防犯活動団体及び地域防犯パトロール協力事業者による防犯活動の実施	防災安全課	実施団体数 自主防犯活動団体数：56団体 協力事業者数：23事業者	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。	実施団体数 自主防犯活動団体数：52団体 協力事業者数：21事業者	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。	実施団体数 自主防犯活動団体数：37団体 協力事業者数：16事業者	令和4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行った上で、各団体が小学校登下校時の子ども見守り活動を行うなど、活発な防犯活動を行った。協力事業者数は横ばいではあるが、事業者の所有する車両による防犯パトロールを継続して実施した。	c	ホームページでの募集を継続して行い、その結果前年度比で自主防犯活動団体数は2団体の増、協力事業者数は前年度と同じだった。新規団体や事業者を増やすためにはホームページだけでは周知が不十分だったと捉えている。	a	自主防犯活動団体及び協力事業者は各地域で活発に防犯活動を行っており、質的目標に対する実績は達成した。
Ⅲ (1)	39	病児・病後児保育事業	保育幼稚園課	5施設(22人 内7人)	質の高い病児・病後児保育が実施され、手続が簡略化されている。	5施設(22人 内7人)	質の高い病児・病後児保育が実施され、手続が簡略化されている。	5施設(22人 内7人) ※都立小児総合医療センター病児・病後児保育室は、令和3年度は国分寺市民の利用に至らなかったが、令和4年度は利用が増加した。定員は、当面の間半数の運用だが、国分寺市民の利用希望があり、他自治体の空き枠がある場合は、当初予定されていた定員数まで受入可能となっている。	新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、利用は激減したが、病児・病後児保育を受講することにより質の高い病児・病後児保育を実施するための支援ができた。病児・病後児保育保護者負担金の支払いについては、手続を簡略化するための有効な手段を導入するまでには至っていないが、登録・予約システム等も含め他自治体や他の病児・病後児保育施設での実施状況等情報収集に努めた。	b	都立小児総合医療センター病児・病後児保育室において、当面の間定員の半数運用とされ、他自治体の空き枠があった際のみ当初予定された定員分利用となっているため。	c	病児・病後児保育に従事する職員が研修を受講することにより、質の高い保育を実施するための支援はできたが、手続の簡素化については、有効な手段の導入に至らなかったため。





施策評価書
(計画第4章評価部分)

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和４年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

通番１ 利用者支援事業（基本型）の充実における地域の巡回訪問や通番２ 出産・子育て応援（ゆりかご・こくぶんじ）事業における面接を通じ、子育てに関する相談に応じることで、不安を軽減できる体制を整備し、妊娠期から子育て期にわたる各種子育てサービスに関する情報提供を行うとともに、自ら相談に来ることができない方が各種サービスにつながっていけるよう、働きかけを行った。また、通番３ 両親学級（わくわくクラス・ひかりクラス・プレママプレパパセミナー）においても他者との交流を図るプログラムを再開し、情報交換の機会を提供した。

通番４ 子育て世代包括支援センター事業（「親と子の相談室」を含む）では、相談業務での対応や通番１及び通番２の事業で受けた相談等から継続的に支援が必要な方を把握し、子ども家庭支援センター等の関係機関と連携して支援を行った。また、「国分寺子ども・子育て支援円卓会議」や子育て応援パートナー事業における地域ネットワーク構築のための地区連絡会に参加し、同事業の更なる周知を図る取組を実施した。

通番５ 保育コンシェルジュ事業では、保護者からの保育施設の保育サービスに係る相談に対し、適切な情報提供や案内を行い、特に心身に障害がある子どもや医療的ケアが必要な子ども及びその保護者に対しては適切な支援につながるよう、希望施設と連絡調整を実施するなど、利用者に寄り添ったサポートに努めた。また、ひとり親家庭の生活自立に向けては、通番６ 母子・父子自立支援プログラム策定事業及び通番７ ひとり親家庭自立支援給付金事業により相談・支援を継続して行った。

各種子育てサービスに係る情報提供については、一人ひとりにあったものとなるよう、「暮らしのガイド」や「ホッとおれんじ こくぶんじ」など子育てサービスを掲載した冊子を活用するとともに、各事業において個別に作成しているもの（子育て応援プランや保育所等入所案内、ひとり親家庭のしおり等）を活用した。周知媒体・方法についても、ホームページや市報といった全市民を対象とするものだけでなく、各種相談や窓口における関係事業の案内や、関係部署との連携による郵送物への同封、また、利用者をサポートする関係団体との連携による事業周知の実施など、工夫を行った。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

通番1 利用者支援事業（基本型）の充実については、量的目標に基づいた評価がされているが、実施場所数だけでは、当該事業がどの程度市民に利用されたのかがわかりづらいことから、目標値の設定や実績の記載方法等について検討されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

通番7 ひとり親家庭自立支援給付金事業については、制度の仕組みから市民が利用しづらく、利用者数が目標値に届いていない実態があるとのことである。ひとり親家庭の自立の促進のため、当該事業の実施方法等について検討されたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
1	利用者支援事業（基本型）の充実	子育て相談室
事業内容		
子育て応援パートナーが、親子ひろば事業など地域の子育て支援施設等を巡回し、子育て家庭等からの相談に応じるとともに、子育て支援事業及び保育サービスの利用に当たっての情報提供及び助言を行う。		
令和6年度目標		
量的	利用者支援事業（基本型）実施場所：市内3か所 ※子育て世代包括支援センター事業を除く。	
	地域子育て支援拠点事業や地域の子育て支援活動を行う団体との連携が強化され、一人ひとりに合わせたきめ細やかな子育て支援サービスが提供されている。	
質的		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	利用者支援事業（基本型）実施場所：市内2か所	
質的		
	市民一人ひとりにあわせた子育て支援サービスが提供できるよう、地域子育て支援活動団体等の運営支援を行い、サービスの質の向上を図る。 （地域課題の共有、各団体の課題解決支援のためのスキルアップ研修、地区連絡会を実施する）	
令和4年度実績		
量的	利用者支援事業（基本型）実施場所：市内2か所	
質的		
	市民一人ひとりにあわせたサービスが提供できるよう、市内だけでなく近隣市の子育て支援活動の情報を収集し、親子ひろば事業などや地域の子育て支援施設等への巡回時、また、ツイッター等で、市民に情報提供を行った。その他、地域におけるサービスの質の向上を図るため、以下の取組を行った。 ●地域の子育て支援活動団体等を対象に実施。 ・地区連絡会：3地区各2回（計6回） ・研修「個人情報の取扱について」：1回 ●子育て応援パートナーのアセスメントスキル向上のための研修：1回	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価	令和4年度目標のとおり、市内2箇所利用者支援事業（基本型）を実施した。
	a	
質的	評価	地区連絡会や巡回訪問等を通し、地域の共通課題を意見交換することで、連携の必要性を共有することができ、関係機関等との連携強化につなげることができた。今後も、市民サービスの質の向上に向け、さらなる地域連携を進めていく必要がある。
	b	
結果	評価	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様
	A	

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
2	出産・子育て応援（ゆりかご・こくぶんじ）事業		健康推進課
事業内容			
全ての妊婦を対象として、妊娠期から専門職がかかわることにより、出産・子育てに関する不安を軽減する。また、各家庭のニーズに応じた支援を妊娠期から子育て期にわたって切れ目なく行うことにより、妊婦並びに乳幼児及びその保護者の心身の健康の保持及び増進を図る。			
令和6年度目標			
量的 質的	ゆりかご・こくぶんじ面接率：100%		
	ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合：100%		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的 質的	ゆりかご・こくぶんじ面接率：91% （妊娠届数に対する面接者数の割合。以下同じ。）		
	ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合：97% （ゆりかご・こくぶんじ利用者数に対する同事業の利用者アンケートで「満足している」と回答した人の割合。以下同じ。）		
令和4年度実績			
量的 質的	ゆりかご・こくぶんじ面接率：100.3%（転入者含めた面接者数で算出）		
	ゆりかご・こくぶんじに満足している者の割合：93.0%		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価 a	評価理由等	ゆりかご・こくぶんじ面接対象者に対し、積極的に電話・手紙で勧奨して、実施した。対面での面接が困難な方には、オンライン面接を実施した。また、いずみプラザや市役所で妊娠届出をされた方には、手続き後にゆりかご・こくぶんじ面接を実施するなどし、面接率の向上に努めた。
	評価 b	評価理由等	ゆりかご・こくぶんじ面接について、実施時期や体調面の考慮を要望する意見をいただいております。面接に係る職員への研修実施などにより、面接の満足度の向上に引き続き努めていく必要がある。
結果	評価 B	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
3	両親学級 (わくわくクラス・ひかりクラス・プレママプレパパセミナー)		健康推進課
事業内容			
妊婦とその家族を対象として、妊娠・出産・育児に関する知識の習得、母子保健サービスに関する情報提供、妊娠中の不安の軽減を図り、地域での仲間づくりを進める。			
令和6年度目標			
量的	両親学級：10回実施 プレママ・プレパパセミナー：3回実施		
質的	地域での仲間づくりができています。 健康・妊娠・育児に関する知識や情報を得ることができ、安心して出産・育児ができる。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	両親学級：10回実施 プレママ・プレパパセミナー：3回実施		
質的	地域での仲間づくりができています。 健康・妊娠・育児に関する知識や情報を得ることができ、安心して出産・育児ができる。		
令和4年度実績			
量的	両親学級15回実施（わくわくクラス：4回116人（4回の内、2回はわくわく同窓会を実施し、20人が参加）、ひかりクラス：11回412人） プレママ・プレパパセミナー2回実施 29人		
質的	妊婦とそのパートナー等家族が妊娠・出産に関する知識を得る場とともに、クラスでの交流を通して仲間づくりの機会にもなっており、地域で安心して出産・子育てすることにつながっていると考えます。プレママ・プレパパセミナーは目標に掲げていた回数には至っていないが、個別対応する等、妊婦とそのパートナーが安心して出産・育児ができるよう不安の軽減に努めた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	両親学級の実施回数は目標を超えた実施が出来たが、プレママ・プレパパセミナーは2回開催となった。
	b		
質的	評価	評価理由等	コロナ禍であっても、妊婦とそのパートナー等家族が健康・妊娠・育児に関する知識や情報をオンラインでも得られるよう、また、参加者同士や先輩パパ・ママとの交流から仲間づくりのきっかけとなるよう、安心して出産・育児ができるよう情報や機会の提供を行った。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課	
4	子育て世代包括支援センター事業 （「親と子の相談室」を含む）	健康推進課	
事業内容			
主に妊産婦及び乳幼児期の実情を把握し、妊娠・出産・子育てに関する各種の相談に応じ、必要に応じて関係機関との連携を行い、母子保健施策と子育て支援施策との一体的なサービスを提供する。このことを通じて、妊産婦及び乳幼児等の健康の保持及び増進に関する包括的な支援を行うことにより、切れ目のない支援を提供する。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい		
質的	①妊娠・出産について満足している者の割合：85% ②本市で子育てを継続したいと思う親の割合：95%		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい		
質的	①妊娠・出産について満足している者の割合：77.5% （3～4箇月児健診対象者に実施するアンケートへの回答者数に対する同アンケートにおいて「妊娠・出産について満足している」（産後、退院してからの1か月程度、助産師や保健師等からの指導・ケアは十分に受けることができましたか）と回答した者の割合。以下同じ。） ②本市で子育てを継続したいと思う親の割合：93% （3～4箇月児、1歳6箇月児及び3歳児健診対象者に実施するアンケートへの回答者数に対する同アンケート中設問「本市で子育てを継続したいと思う」において「そう思う」又は「どちらかといえばそう思う」と回答した者の割合。以下同じ。） ※アンケート…「すこやか親子21」（国実施）に基づき実施するアンケート		
令和4年度実績			
量的	<ul style="list-style-type: none"> 産後ケア事業 利用世帯数159世帯（実数）、利用回数646回（延数） 産後ケア事業委託事業者数 2か所 親と子の相談室 年4回実施。（市民相談8件、保健師相談3件） 地域における健康教育（出前講座）年1回実施。 母子保健及び子育て支援に係る支援者等への研修会 年2回実施。 		
質的	①妊娠・出産について満足している者の割合：85.0% ②本市で子育てを継続したいと思う親の割合：95.6%		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	産後ケア事業（通所型）の委託先事業者を2か所に増やし、妊娠期から子育て期にわたる切れ目のない支援の充実を図ることができた。	
	a		
質的	評価	ゆりかご・こくぶんじ面接実施者に「子育て応援プラン」の作成、子育てサービス等の情報提供を行った。また、産婦・新生児訪問にて、保護者から生活状況や育児に対する不安等を確認し、早期から支援を実施したため、令和4年度実績のとおり、目標を達成した。	
	a		
結果	評価	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様	
	A		

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
5	保育コンシェルジュ事業		保育幼稚園課
事業内容			
保育コンシェルジュが利用者の個別ニーズを把握し、それに基づいて情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。さらに、関係機関との連絡・調整を行い、利用者目線で、一人ひとりに寄り添った子育て支援を実施する。			
令和6年度目標			
量的	コンシェルジュの体制: 2人		
質的	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	コンシェルジュの体制: 2人 利用件数670件		
質的	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートする。		
令和4年度実績			
量的	コンシェルジュの体制: 2人 利用件数660件		
質的	情報の集約・提供、相談、利用支援等を行うことにより、教育・保育施設を円滑に利用できるようサポートした。また、障害がある児童や医療的ケアが必要な児童の入所申請には、希望施設と連絡調整を実施し、見学の日程調整・同行見学を行うなどして、利用者に寄り添ったサポートをした。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	平成31年度より、コンシェルジュを2名体制とし、令和6年度目標どおりの体制を確保出来ているが、利用件数が目標に達していないため。
	b		
質的	評価	評価理由等	利用者に対して、きめ細やかな情報提供や相談等を行い、教育・保育施設の円滑な利用をサポートできた。利用者の要望全てに答えることは難しいが、今後もきめ細やかに利用者支援を行っていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
6	母子・父子自立支援プログラム策定事業	生活福祉課
事業内容		
児童扶養手当受給者等の自立を促進するために、児童扶養手当受給者等の相談を受け、個々の状況やニーズ等に対応した自立支援プログラムを策定し、継続的な自立・就業支援を行う。		
令和6年度目標		
量的	プログラム策定数：8件	
質的	プログラムを策定した市民が、自立した生活を送ることができている。	
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	プログラム策定数：7件	
質的	プログラムを策定した市民が、自立した生活を送ることができている。	
令和4年度実績		
量的	プログラム策定数：7件	
質的	プログラムを策定した市民が、自立した生活を送ることができた。	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 a	評価理由等 ひとり親自立支援に係る給付金（5件）の申請や就労相談（1件）、ひとり親家庭住宅支援資金貸付（社会福祉協議会にて貸付）を利用（1件）するために、自立支援プログラムの策定を希望される方が多かったため目標を達成した。
質的	評価 a	評価理由等 プログラムを策定した市民が、それぞれの状況に応じた職業訓練や就労ができたことで、自立した生活を送ることができたため。
結果	評価 A	評価指標 A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
		C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
		※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
7	ひとり親家庭自立支援給付金事業	生活福祉課
事業内容		
ひとり親家庭の自立の促進，ひとり親家庭の親の学び直しやひとり親家庭の児童の進学を支援することを目的に，①自立支援教育訓練給付金，②高等職業訓練促進給付金，③高等学校卒業程度認定試験合格支援事業の給付金を支給する。		
令和6年度目標		
量的	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数：14人	
質的	安定的に雇用され，経済的に自立できている。	
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数：13人	
質的	安定的に雇用され，経済的に自立できている。	
令和4年度実績		
量的	ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数：6人	
質的	安定的に雇用され，経済的に自立できている。	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 C	評価理由等 ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等の利用者数が目標に到達しなかったため。
質的	評価 a	評価理由等 ひとり親家庭を対象とした自立支援給付金事業等を利用した方のうち，自立支援教育訓練給付金を受給した1人は，取得した資格を基に就労先でのステップアップができた。なお，高等職業訓練促進給付金を受給した4人は，現在も資格取得に向けて訓練を継続している。
結果	評価 B	評価指標 A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
		C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
		※ a，b及びcの評価指標についても同様



国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和４年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

地域でともに支え合う環境づくりを進めるため、通番８ 子育て支援活動の推進（地域組織化活動）においては、「国分寺子ども・子育て支援円卓会議」をオンラインで実施したことにより、参加する市民活動団体等が増え、より充実した情報交換につながった。また、地域の子育て支援を実施する市民活動団体等の協力のもと、地域の子育て家庭の抱える課題を踏まえたイベント等の実施や、各団体の広報媒体を活用したイベント等の周知を行い、子育て支援活動の推進を図った。

通番９ こくぶんじ青空ひろばでは、引き続き10公園において乳幼児親子の遊びの場を提供するとともに、ボランティアの受入れにより、多世代での交流が生まれ、地域における子育て支援のきっかけづくりとなる事業を実施できた。

通番10 児童館における行事の充実及び通番11 児童館におけるボランティア等受入れ事業については、まつり等の大規模な行事を再開できた他、引き続き読み聞かせ等のボランティアの受入れを行っている例月行事を実施することで、ボランティアの受入れも増え、多世代や地域との交流につながった。

なお、各事業においては、土曜日や日曜日にイベント等の実施やボランティアの受入れを行うなど、働いている方が参加しやすいよう配慮した。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

各事業とも本施策の方向性に沿った事業実施に向け、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じ、実施形態の工夫や行事の再開を行ったことから、本施策に対する評価については、このように判断した。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

通番9 こくぶんじ青空ひろばでは、障害のある乳幼児の親子も参加できる事業である。今後は、利用実態が定量的に把握できる目標設定や実績の記載について検討されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課	
8	子育て支援活動の推進（地域組織化活動）	子育て相談室	
事業内容			
<p>地域に「ともに支え合う」環境づくりを進めるために、市内において実施されている子育て支援事業や活動を、市民活動団体等との連携のもと支援する。</p> <p>①子ども・子育て支援円卓会議の実施 ②市内子育て支援活動の広報 ③市内子育て支援活動の活動援助（イベント実施，研修含む） ④地域ボランティアの育成，活動支援</p>			
令和6年度目標			
量的	①毎月1回開催 ②～④年1回		
質的	子どもとその家庭を支援するネットワークが形成され，市民や市民活動団体等との日常的な連携・協働関係のもと，市民への円滑なサービスが提供されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	①毎月1回開催 ②～④年1回		
質的	地域で子育て支援活動を実施する市民や市民活動団体等との連携のもと，市民への円滑なサービスが提供されている。		
令和4年度実績			
量的	①毎月1回実施 ②年1回/6月1日市報の折込み記事として「こっこっこだより」を発行した。 ③年1回/「こっこっこ月間」を実施し，地域の子育て支援活動団体等が企画したイベントの実施場所の確保や広報等を支援した。 ④年1回/子ども家庭支援センターまつりにおいて，市民ボランティアの受入れを行った。		
質的	子ども・子育て支援円卓会議において，地域の子育て家庭の抱える課題を共有し，連携したことで，新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じながら，こっこっこ月間を実施することができ，多くのイベント等の子育て支援サービスを，市民へ提供することができた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標どおりに，実施することができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	地域の子育て支援を実施する市民活動団体等と協力しながら，こっこっこ月間の実施だけでなく，広報にも力を入れたことにより，市民へ多様な子育てサービスを提供することができた。こうした取り組みを行うことにより，新型コロナウイルス感染症の影響で減少していた親子ひろば等の利用者が少しずつではあるが増加した。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
9	こくぶんじ青空ひろば	子ども子育て支援課
事業内容		
乳幼児及びその保護者等に対し、市内公園を活用して、安心して過ごすことのできる遊びの場を提供することにより、保護者同士の交流を図るとともに、地域全体で子どもを見守り、育てる環境をつくる。		
令和6年度目標		
量的	10公園	
質的	市内公園を活用した乳幼児親子の遊びの場を提供することにより、保護者同士が交流し、また、地域住民が子どもの遊びを身近に感じ、子育て支援について理解している。	
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	10公園	
質的	乳幼児及びその保護者等に親子の遊びの場を提供することにより、保護者同士が交流し、また、地域住民が子どもの遊びを見守り、支援することで身近に感じ、子育て支援について理解している。	
令和4年度実績		
量的	10公園	
質的	乳幼児及びその保護者等の遊びの場を提供することで、保護者同士や地域住民との交流ができた。また、ボランティアを受け入れたことで異年齢交流が生まれ、地域ぐるみで子育て支援の理解が進んだ。	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 a	評価理由等 昨年度からの継続利用も多く見られ、10公園において乳幼児親子の遊びの場を提供することができた。今後も利用者が安心して安全に遊ぶことができるよう、協働事業の実施団体と連携して安全管理を適切に行いながら、引き続き事業を実施していく必要がある。
質的	評価 a	評価理由等 コロナ禍でも十分な新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に努め屋外という利点を活かした活動を提供できた。地域住民やボランティアの協力を得ることで、活動内容の充実を図ることができた。また、継続して利用する保護者等も増え、お互いに悩み相談する場にもなり交流が図れていた。
結果	評価 A	評価指標 A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
10	児童館における行事の充実		子ども子育て支援課
事業内容			
地域に根ざし、地域に開かれた児童館として、乳幼児期、児童期及び思春期の発達段階に応じた子どもたちの健全な遊びや日常生活を支援するとともに、地域社会との連携及び地域の高齢者・学生等との多世代交流を図りながら、様々な行事等を実施し、地域とともに子どもたちの健全育成を進める。			
令和6年度目標			
量的	多世代交流行事実施回数：30回 地域とのかかわり行事実施回数：120回 ※全児童館の合計実施回数		
質的	地域社会との連携及び地域の高齢者・学生等との多世代交流を図りながら、事業が実施されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	多世代交流行事実施回数：18回 地域とのかかわり行事実施回数：72回 ※全児童館の合計実施回数		
質的	感染症の蔓延状況を鑑みながら、地域社会との連携及び高齢者・学生との多世代交流を図り、感染症対策に留意しつつ、事業を実施されている。		
令和4年度実績			
量的	多世代交流行事実施回数：129回 地域とのかかわり行事実施回数：150回 ※全児童館の合計実施回数		
質的	各児童館のまつりや観劇会など大規模な行事も再開でき、多世代や地域との交流を行えた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行いながらも中止していた例月行事を再開し、地域の高齢者ボランティアによる読み聞かせ、おもちゃ図書館などの多世代交流行事を行うことができた。また、各館のまつりや観劇会、人形劇、収穫体験など地域とのかかわる比較的規模の大きい行事も再開し、令和4年度目標を大きく上回って達成することができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	各児童館のまつりや観劇会など大規模な行事も再開でき、多世代や地域との交流を行えた。今後も、多世代交流や地域とのつながりを大切にした行事やイベントを実施していく。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課	
11	児童館におけるボランティア等受入れ事業	子ども子育て支援課	
事業内容			
児童館において、多様な経験・知識等を持つ地域住民をボランティア等として受け入れ、児童館の活動に参加できる機会を提供していくことを通じて、地域の人材・組織等との連携・協力関係を築いていき、地域とともに子どもたちの健全育成を進める。			
令和6年度目標			
量的	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計140人		
質的	地域住民をボランティア等として受け入れ、児童館の活動に参加できる機会を提供していくことを通じて、地域の人材・組織等との連携・協力関係が築かれている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計75人		
質的	地域住民をボランティア等として受け入れ、児童館の活動に参加できる機会を提供していくことを通じて、地域の人材・組織等との連携・協力関係が築かれている。		
令和4年度実績			
量的	地域住民のボランティア等の受入れ数：合計70人（継続登録：53人 新規登録：17人）		
質的	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策により行事が中止になることもあったが、ボランティアが積極的に活動に取り組んでくれており、毎月の読み聞かせや、おもちゃ図書館などの行事を実施することで、地域の人材との連携が図れた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 b	評価理由等 令和3年度より新型コロナウイルス感染症の流行が落ち着き、様々な行事が再開となったため、令和4年度目標に近いボランティアの受け入れができた。今後も行事を積極的に実施し、ボランティアの受け入れをしていく。	
質的	評価 b	評価理由等 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行いながら毎月の読み聞かせやおもちゃ図書館などの行事を実施でき、ボランティアもいきいきと活動しており、地域の人材や組織との連携が図れた。	
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和４年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

待機児童の解消に向け、通番12 待機児童解消のための認可保育所の増設では、令和4年4月1日付けでの待機児童解消を図ることができなかつたため、「国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画」の中間見直しにおいて計画変更を行い、認証保育所の認可保育所への移行や老朽化した民設民営認可保育所の建替えに伴う整備計画を進めたことで、令和6年4月1日付けで待機児童を解消する目途がついた。また、保育施設が全ての子どもがともに成長していく場となるよう、通番13 基幹型保育所システム事業では、保健衛生・安全対策分野のキャリアアップ研修の実施により習得した知識を活かし、重大事故防止及び不適切保育未然防止の参考となる冊子の作成を行うなど保育の質の維持・向上を図る取組を実施し、通番14 障害児保育事業においては、一人ひとりの特性に応じた保育が実施できるよう、職員加配に対する補助を実施した。

通番15 学童保育所整備事業では、小学校の三季休業中に、公設の学童保育所では、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策として、子どもが安全・安心に過ごせるように、教育委員会や学校の協力を得て、学校の教室、図書室、体育館及び校庭等の学校施設を借用し、分散保育を行った。また、学童保育所の放課後児童支援員が放課後子どもプランの協力員と適時情報交換を行いながら、利用する児童が放課後子どもプランに円滑に参加できるよう連携を図った。また、民設の学童保育所では、公設の学童保育所の狭隘状況を解消するため、定員に空きのある施設を活用して、令和3年度以降、小学4年生の受入れを実施している。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

通番12 待機児童解消のための認可保育所の増設では、現計画の中間見直しにおいて計画変更を行い、待機児童を解消するための対応を図った。引き続き、方向性にに基づき、質の維持・向上や多様なニーズへの対応を図っていく必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

通番12 待機児童解消のための認可保育所の増設については、これまで認可保育所を整備し、利用定員を拡充されてきたことで待機児童数は減少傾向にある。今後、認可保育所の利用児童数の大幅な増加が見込まれない中であっては、その推移について注視しながらも、利用定員拡充等量的視点に重点をおいたものから、保育の質等、質的視点により重点を置いた事業の実施のあり方について検討されたい。

通番14 障害児保育事業については、認可保育所を対象とした事業であるが、幼稚園においても、障害児の受入れをしていると思われる。障害児が、どの施設、どの事業を利用しても適切な環境や支援体制で過ごせるよう更なる支援の充実を図るに当たり、次期計画での位置付けや目標設定等について検討されたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課	
12	待機児童解消のための認可保育所の増設	子ども若者計画課	
事業内容			
子ども・子育て支援事業計画に基づき待機児童を解消する。			
令和6年度目標			
量的	適正に認可保育所が整備され、待機児童が0人になっている。		
質的	待機児童の地域的偏在がなく、状況に応じて認可保育所が整備されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	適正に認可保育所が整備され、待機児童が0人になっている。		
質的	待機児童の地域的偏在がなく、状況に応じて認可保育所が整備されている。		
令和4年度実績			
量的	令和4年4月1日付けで待機児童を解消する計画であったが、実際には令和4年4月1日付けで待機児童が25人、令和5年4月1日付けで待機児童が38人だった。		
質的	令和4年4月1日付けの待機児童が25人であったことを受けて、「国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画」の中間見直しにおいて計画変更を行い、認証保育所の認可保育所への移行や老朽化した民設民営認可保育所の建替えに伴う認可保育所の入所定員の整備計画を進めたことで、令和6年4月1日付けで待機児童を解消する目途がついた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	計画に基づき整備したものの、目標である待機児童数が0人を達成することができなかったため。
	C		
質的	評価	評価理由等	「国分寺市子ども若者・子育ていきいき計画」の中間見直しにおいて計画変更を行い、認証保育所の認可保育所への移行や老朽化した民設民営認可保育所の建替えに伴う認可保育所の入所定員の整備計画を進めたことで、令和6年4月1日付けで待機児童を解消する目途がついた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
13	基幹型保育所システム事業		保育幼稚園課
事業内容			
市内を3つのエリアに分け、各エリア内に基幹型保育所を設定する。基幹型保育所同士での連携や、基幹型保育所から保育施設に対して情報の共有・助言指導・各種研修等を行うことにより、もって保育の質の維持・向上を図る。			
令和6年度目標			
量的	保育所保育指針に適應した各種研修等、保育の質の維持・向上を図るため、各種事業を実施する。		
質的	保育の質の維持・向上が図られている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	多様なニーズに応えた研修の実施や、情報共有・意見交換を行う各種連絡会を実施する。重大事故防止及び不適切保育未然防止の参考となる冊子を作成する。		
質的	各事業を実施する上で次の事項を組み入れることにより保育の質の維持・向上が図られている。研修実施の際は、保育施設現場で働く職員の声や昨今の社会情勢等を基に、保育園に求められている専門的な知識や技術が習得できる内容を検討し実施する。各種連絡会を実施の際は、情報共有や意見交換を行い、保育施設間での繋がりを強化できるものとする。また、重大事故防止及び不適切保育未然防止の参考となる冊子を作成する際は、既存のガイドラインをそのまま踏襲するのではなく、内容を一つ一つ丁寧に確認し進める。		
令和4年度実績			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・キャリアアップ研修：1分野　・スポット研修：6分野 ・保育士連絡会：5歳-3回（東）1歳-3回（中央）2歳-3回（西）4歳-3回 ・看護職連絡会：3回　・栄養士連絡会：3回 ・心理相談員による巡回相談事業 巡回相談：42回 指定相談：6回 ・重大事故防止及び不適切保育未然防止の参考となる冊子作成。 		
質的	各事業を実施する上で次の要素を組み入れたことにより保育の質の維持・向上を図ることができた。研修の内容は、社会的に問題視されている保育施設での事故やこれまでの研修受講者アンケートを参考にしたことで、保育施設現場で働く職員が求める研修を開催することができた。各種連絡会を実施したことで、情報共有や意見交換、相互に相談ができる場をつくることができ、保育施設間のつながりを強化することができた。重大事故防止及び不適切保育未然防止の参考となる冊子については、既存のガイドラインをそのまま踏襲するのではなく、内容を一つ一つ丁寧に確認し作成することができた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行いながら、ほとんどの事業を予定通り実施することができた。重大事故防止及び不適切保育未然防止の参考となる冊子の作成には時間を要したものの完成させることができた。
	b		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を十分に行いながら、質的目標の視点に立った事業を予定通り実施することができた。重大事故防止及び不適切保育未然防止の参考となる冊子については作成に時間を要したため、年度内に各保育施設に周知することができなかった。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
14	障害児保育事業		保育幼稚園課
事業内容			
保育所において、保育に欠け、かつ、心身に障害がある児童を当該障害児のよりよい心身発達と豊かな人間性の育成に資するため、適切な環境のもとで保育が実施できるよう支援する事業である。多様な保育ニーズに対応するため、心身に障害がある児童を受け入れるに当たり、手厚い保育ができるよう、保育士等の加配などに対して補助を行う。			
令和6年度目標			
量的 質的	補助金交付：58件		
	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的 質的	補助金交付：51件		
	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和4年度実績			
量的 質的	補助金交付：43件		
	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、適切な環境・体制で保育を実施できるようにした。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	障害児の入所希望者が減少したことで補助金申請をする園が目標を下回ったため、量的な目標を達成できなかった。
	b		
量的 質的	評価	評価理由等	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、適切な環境・体制で保育が実施できるようにした。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
15	学童保育所整備事業		子ども若者計画課 子ども子育て支援課
事業内容			
<p>【公設】学童保育所が狭隘となっている第三小学校及び第十小学校区について、子ども・子育て支援事業計画及び新・放課後子ども総合プランに基づき、学校敷地内に「一体型」※の公設学童保育所を新たに整備し、放課後子どもプラン（放課後子供教室）と連携して実施する。令和4年度に設計を実施し、令和5、6年度に整備工事を行い、令和7年4月1日に開所する。</p> <p>※「一体型」とは、学童保育所と放課後子どもプランを統合（一の事業として行う。）することではなく、現在行われているように、同一の小学校等において両事業が実施され、プログラム等の共有を通じ、学童保育所の児童が放課後子どもプランに参加可能とされているものをいう。</p> <p>【民設】学童保育所の狭隘状況の解消のため、子ども・子育て支援事業計画に基づき民設民営学童保育所を整備する。</p>			
令和6年度目標			
量的	【公設】2箇所（4施設）整備 【民設】子ども・子育て支援事業計画に基づき各年度整備する。 [一体型の事業量] 8校区（15施設）		
	【公設】学校敷地内に学童保育所を新設し、放課後子どもプラン（放課後子供教室）を一体的に実施することで、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設の学童保育所の狭隘状況が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。		
質的	【公設】学校敷地内に学童保育所を新設し、放課後子どもプラン（放課後子供教室）を一体的に実施することで、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設の学童保育所の狭隘状況が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。		
	令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	【公設】三小・十小に新設する公設学童保育所の基本設計及び実施設計並びに施設整備に係る補助金の申請を進める。 【民設】子ども若者・子育ていきいき計画（第5章子ども・子育て支援事業計画）に基づき、施設整備を行う。（定員45人×2施設）		
	【公設】学童保育所と放課後子どもプランとの連携を一層強化していきながら、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設学童保育所の狭隘が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。		
質的	【公設】学童保育所と放課後子どもプランとの連携を一層強化していきながら、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。 【民設】公設学童保育所の狭隘が解消されているとともに、学童保育所に通う児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動を行うことができるようにする。		
	令和4年度実績		
量的	【公設】三小・十小に新設する学童保育所の基本設計及び実施設計を完了させ、施設整備に係る補助金の申請を行った。 【民設】公設学童保育所の狭隘を解消するため、学童保育所設置事業者の公募を行ったが、学童保育所を整備できる物件が無く、事業者からの応募が無かった。		
	【公設】三小・十小に新設する学童保育所の基本設計及び実施設計にあたっては、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動に必要な専用区画や設備等を備えた施設になるよう工夫を行った。 【民設】子ども若者・子育ていきいき計画（第5章子ども・子育て支援事業計画）に基づき、公設学童保育所の狭隘を解消するため、どのような学童保育所を求めているかを学童保育所設置事業者に明確に示し、公募を行ったが、学童保育所を整備できる物件が無く、応募はなかった。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	【公設】三小・十小に新設する学童保育所の基本設計及び実施設計を完了させ、施設整備に係る補助金の申請をするなど、令和7年4月1日の開設に向けて順調に事務を進めた。 【民設】学童保育所の施設整備を行うことができなかった。
	C		
質的	評価	評価理由等	【公設】三小・十小に新設する学童保育所について、児童が安全・安心に過ごし、多様な体験・活動に必要な専用区画や設備等を備えた施設となるような基本設計及び実施設計を行った。 【民設】学童保育所の施設整備を行うことができなかった。
	C		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	C		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。 ※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和4年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

通番16 男性が家事・育児に参画するための環境づくりでは、男性が家事・育児を担うことへのきっかけづくりとして、市民に対して男女共同参画週間にあわせた講座を開催したことに加え、東京都と共催でセミナーを開催した。なお、講座についてはオンライン、セミナーについては対面でもオンラインでも参加できる仕組みで開催することで、小さい子どもがいても自宅などから参加できるよう配慮した。

また、通番17 特定事業主行動計画の推進及び啓発では、「国分寺市特定事業主行動計画」において、男性の育児参加の促進について文言を整理し、改定を行った。職員に対しては、改定した計画の内容や休暇制度について、庁内電子掲示板へ案内文書を掲載した他、新任職員研修を通じての各種休暇制度を周知し、子が生まれた職員に対して、直接育児休業等取得の推奨を行った。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

方向性に基づき各事業は実施されており、事業の実施結果も量的・質的ともに目標値を「おおむね達成している」以上の水準となっている。なお、通番16ではSNSの活用や講座の開催に限らないイベントの開催など、情報提供の手法について工夫を検討する必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
16	男性が家事・育児に参画するための環境づくり		人権平和課
事業内容			
男性が積極的に家事・子育て・介護に携わることができるよう、講座の開催などをし、様々なスキルや支援の情報提供を行う。			
令和6年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
	男性に対し、仕事と家庭との調和の意識づくりへの情報提供がなされ、定期的に講座が開催されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
	男性に対し、仕事と家庭との調和の意識づくりへの情報提供がなされ、定期的に講座が開催されている。		
令和4年度実績			
量的	男女共同参画週間にあわせた「家事シェア講座」を開催した。また、東京都と共催し、都民・市民に向け家庭に潜むアンコンシャス・バイアスに気づき、協力して仕事と家庭の調和を目指すことについて意識啓発を行った。		
	性別役割分担意識に寄らず、家族で家事を分業するという考え方について講座を開催し、あわせて男性の家事・育児参画に関する情報をホームページ及びツイッターで発信し、周知を行った。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	性別役割分担意識解消・アンコンシャス・バイアス解消の観点から、ワーク・ライフ・バランスについて考える講座を2回開催した。また、東京経済大学の学生と協力し、女性の社会進出及び男性の家事参画に関するポスターを作成・掲示した。
	a		
質的	評価	評価理由等	男性の家事・育児参画に関する情報の発信を行った。講座については、市主催の「家事シェア講座」の満足度（「よかった、とてもよかった」と回答した割合）は約93%と高評価であり、参加者にとって有益な講座を開催することができたと考えられる。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
17	特定事業主行動計画の推進及び啓発		職員課
事業内容			
特定事業主行動計画の啓発を行い、働きやすい職場環境の整備を進める事業			
令和6年度目標			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産介護休暇取得率100% ・ 育児参加休暇取得率100% ・ 男性育児休業取得率50% 		
質的	職員向けに休暇制度の周知を年2回程度行い、職員及び所属長の制度への理解を深め、職場環境の改善を進める。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	出産介護休暇については、特定事業主行動計画で取得率100%の目標を掲げている。育児参加休暇についても、対象者すべてが取得することが望ましい。男性の育児休業は、令和6年度目標取得率である50%に向け、毎年度10%ずつ段階的に目標を引き上げることとしており、令和4年度は取得率30%を目標とする。		
質的	職員が制度について十分に理解するなど日常の環境が整備され、働きやすい職場になっている。		
令和4年度実績			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ 出産介護休暇取得率63.6% ・ 育児参加休暇取得率63.6% ・ 男性育児休業取得率63.6% 		
質的	以下により職場環境整備が促進された。 ・ 特定事業主行動計画の改定を行い、男性の育児の促進について文言整理し、庁内イントラネット掲示板にて案内し周知を行った。 ・ 休暇制度について、庁内イントラネット掲示板にて案内し周知を行った。 ・ 新入職員へ向け、新任研修の中で休暇制度の周知を行った。 ・ 子が生まれた男性職員に直接育児休業取得の勸奨を行った。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 b	評価理由等	出産介護休暇及び育児参加休暇取得率については、目標値の3分の2にとどまった。一方、男性育児休業取得率については、目標値30%を大きく上回って達成したことから「b」評価とした。
質的	評価 a	評価理由等	休暇制度の案内を庁内イントラネット掲示板及び新任研修にて周知を図ったことと、子が生まれた男性職員に直接育児休業取得の勸奨を行ったことにより、男性の育児休業取得率について目標の数値を達成することができた。また、職員及び所属長への制度の理解を深めることができた。
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和4年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

通番19 子ども対象事業から通番24 こくぶんじ青空ひろばまで及び通番27 放課後子どもプランにおいては、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策を講じながら、各事業とも工夫を凝らしつつ、方向性にに基づき多様な事業を実施し、環境整備を実施した。また、通番25 公園・緑地の整備では、事業認可を取得し、用地の一部を購入したほか、市民懇談会を開催することにより今後の整備に向けた内容について、市民から意見等を聴取した。通番26 遊具の更新では、遊具の更新を行うことで、ハード面での環境整備を進めた。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた上で、各事業とも方向性にに基づき、工夫を凝らしながら事業を実施した。引き続き、各事業においては実施形態等の工夫により取組を推進するとともに、その取組について市民に認知してもらえる方策を検討していく必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

通番27 放課後子どもプランについては、放課後子どもプランと学童保育所との連携により様々な活動や行事等を実施されていると思われるが、その内容について分かるよう目標設定や実績の記載等について検討されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

通番18 地域の子どもの居場所づくりの推進については、子どもたち自身が市内にどのような居場所があるかを知り、自分たちにあった居場所を発見するためにも、子どもの目に届く場所に市が作成している子どもの居場所紹介マップを設置されたい。また、居場所の考え方にも様々な視点がある。中には学校に行きづらさを感じている子どもたちもいることから、放課後の時間帯に限らず活用できる居場所の紹介も期待される。今後の子どもの居場所紹介マップの作成に当たっては、遊びの場や学習の場など、居場所の分野別に子どもの意見を聴きながら作成するなどその方法について検討されたい。

通番26 遊具の更新については、令和6年度目標に向けた令和4年度目標は、20公園の遊具更新を実施することを目標としていたが、令和4年度の点検総数も20公園であったことから、目標達成には至らなかった。今後の事業実施に当たっては、点検を実施しても遊具更新をしない可能性を踏まえ、目標達成に向けた事業実施の仕組み等について検討されたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
18	地域の子どもの居場所づくりの推進		子ども若者計画課
事業内容			
地域資源を活用して子どもの居場所づくりを行う。			
令和6年度目標			
量的	市が周知する居場所に関する情報について、全ての市民が把握している。		
質的	子どもが自分らしくいきいきとして過ごせる居場所を確保している。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、市内の子どもの居場所についての情報交換・共有を図り、推進していくための方策を検討する。 子どもの居場所に関する周知のため、市ホームページやツイッターでの発信、子どもの居場所施設に関する動画を制作する。		
質的	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、情報交換・共有を行い、推進への方策を検討している。コロナ禍においても、動画配信をはじめとする情報発信の工夫を通じて、子どもの居場所についての周知が図られている。		
令和4年度実績			
量的	子どもの居場所づくり関係者懇談会を3回（7月、11月、3月）実施し、市内の子どもの居場所についての情報交換・共有を図り、推進していくための方策を検討した。 子どもの居場所に関する周知のため、市ホームページやツイッターでの発信、子どもの居場所についての施設に関する動画（プレイステーション）を制作、1施設（本多児童館）を公開した。		
質的	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、市内の子どもの居場所についての情報交換・共有を図り、情報発信の工夫など、推進への方策を検討した。 市ホームページやツイッターでの情報発信を通じ、子どもの居場所について周知がされた。また、子どもの居場所づくり関係者懇談会の参加者も増え、子どもの居場所についての周知が進んだ。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、市内の子どもの居場所についての情報交換・共有を図り、推進していくための方策を検討した。子どもの居場所に関する周知については、市ホームページやツイッターで発信し、子どもの居場所施設に関する動画（本多児童館・プレイステーション）を制作したが、令和4年度中の公開に至らなかったため、「おおむね達成した」との評価とした。
	b		
質的	評価	評価理由等	子どもの居場所づくり関係者懇談会を実施し、市内の子どもの居場所についての情報交換・共有を図り、情報発信の工夫など推進への方策を検討した。 また、市ホームページやツイッター、動画配信を通じ、子どもの居場所について周知がされた。また、子どもの居場所づくり関係者懇談会の参加者も増え、子どもの居場所についての周知が進んだ。 引き続き、情報発信の工夫等により、子どもの居場所の推進のための方策を検討していく。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
19	子ども対象事業		公民館課
事業内容			
子どもたちが自ら公民館に興味を持ち、集うように、芸術、文化、科学、スポーツなどあらゆる分野の学びの機会を提供する。			
令和6年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で25事業以上の子ども対象事業を実施。		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で10事業以上の子ども対象事業を実施。		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和4年度実績			
量的	全館合計で28事業の子ども対象事業を実施。		
質的	5館平均満足度 96.12%		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和3年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に努めながら5館それぞれの施設の特色を生かし、地域性を考慮した事業の実施に努めたことで目標を達成できた。
	a		
質的	評価	評価理由等	実施した事業については、それぞれ参加者から概ね高い満足度が得られた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
20	子ども活躍の場の創出		図書館課
事業内容			
図書館が子どもたちの居場所となるよう、子ども本人が参加することのできる事業を実施する。			
令和6年度目標			
量的	市内2か所の図書館での実施		
質的	図書館が子どもたちの自主活動拠点の居場所となり、子どもたちが事業を企画・運営し、発表している。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	子どもが参加できる事業として、親子で参加できる一日図書館員を、並木図書館、もとまち図書館で実施する。		
質的	子どもたちが図書館で交流を図ることで、図書館への理解を深め、子どもたちにとって身近に感じられる居場所となっている。		
令和4年度実績			
量的	子どもが参加できる事業として、親子で参加できる一日図書館員を、並木図書館、もとまち図書館で実施した。 並木図書館：参加者子ども5人 大人4人 もとまち図書館：参加者子ども6人 大人3人		
質的	子どもたちが図書館で交流を図ることで、図書館への理解を深め、身近に感じられる子どもたちの居場所をつくった。その他、並木図書館地区（六小、十小、五中）の図書委員および有志からおすすめ本を「木の葉」に見立てたカードに記入してもらい、図書館の柱を幹に見立てて展示した。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	図書館が子どもたちの居場所となるよう、子どもが参加できる事業を市内2か所の図書館（並木図書館、もとまち図書館）で実施した。
	a		
質的	評価	評価理由等	一日図書館員の取組を実施したことで、図書館への理解を深めるだけでなく、参加した子ども同士の交流も図ることができた。今後も子どもたちが、図書館を居場所として身近に感じられる事業を行う。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標にに対して令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
21	児童館における行事の充実	子ども子育て支援課
事業内容		
児童館において、事業の充実や施設のPRに努め、子どもたちが安全に安心して過ごせる居場所として、乳幼児期、児童期及び思春期の発達段階に応じた子どもたちの健全な遊びや日常の生活を支援するとともに、各年齢や発達段階等に応じた様々な行事等を実施し、子どもたちの健全育成を進める。		
令和6年度目標		
量的	全児童館延べ来館者数：173,880人 全児童館行事実施回数：1,100回	
	各児童館において、感染症対策に取り組みながら開館し、各年齢や発達段階に応じた読み聞かせや工作など様々な企画が実施されており、毎月のおたよりやホームページなどでの周知がなされている。	
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	全児童館延べ来館者数：116,000人 全児童館行事実施回数：660回	
	各児童館において、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に取り組みながら開館し、各年齢や発達段階に応じた読み聞かせや工作など様々な企画が実施されており、毎月のおたよりやホームページなどでの周知がなされている。	
令和4年度実績		
量的	全児童館延べ来館者数：139,815人 全児童館行事実施回数：879回	
	各児童館において、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に取り組みながら、読み聞かせや工作など各年齢や発達段階に応じた遊具や活動の場の提供を行った。 また、毎月のおたよりやホームページでの周知を行った。	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価	評価理由等
	a	
質的	評価	評価理由等
	b	
結果	評価	評価指標
	A	

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
22	スポーツセンター，プールの個人開放		スポーツ振興課
事業内容			
スポーツセンター，プール等を個人に開放し，多くの市民にスポーツに親しむ機会を提供する事業。これにより，生涯スポーツ社会の実現を目指す。			
令和6年度目標			
量的	個人開放（市民スポーツセンター，ひかりスポーツセンター，室内プール）を利用する中学生以下の人数：16,800人		
質的	子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実している。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	個人開放（市民スポーツセンター，ひかりスポーツセンター，室内プール）を利用する中学生以下の人数：13,000人		
質的	子どもが個人でもスポーツに親しめる環境が充実している。		
令和4年度実績			
量的	個人開放（市民スポーツセンター，ひかりスポーツセンター，室内プール）を利用した中学生以下の人数：14,104人		
質的	個人開放事業の広報や，必要な用具を購入，スポーツ推進委員の配置等を行ったことで，多くの子どもたちがスポーツに親しみ，楽しめる環境を整えた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和4年度実績（質的）の記載にあるとおり，各種取組を実施したことで，令和4年度の目標値を達成することができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	市民スポーツセンター及びひかりスポーツセンターでの個人開放「スポレク広場」では，スポーツ推進委員を常時2名配置し，参加者への案内や運動指導などを行うことで，子どもたちも含めた参加者がより楽しめるようにした。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
23	国分寺市プレイステーション事業	子ども子育て支援課
事業内容		
乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場・居場所として、国分寺市プレイステーションを運営する。		
令和6年度目標		
量的	年間来場者数：15,000人	
質的	乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所を提供できている。	
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	年間来場者数：15,000人	
質的	乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所を提供できている。	
令和4年度実績		
量的	年間来場者数：25,096人	
質的	令和4年1月から新たに開始した「冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業」として、子どもが店員として仕事を体験できる「駄菓子屋」、中・高校生世代が自ら居心地のいい場を作っていけるようにしている「夕暮れカフェ」及び子育て中の親子の交流の場としている「土日カフェ」の取組を実施し、より充実した乳幼児とその保護者及び青少年が生き生きと遊べる遊び場・居場所を提供することができた。	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 a	評価理由等 令和4年1月から新たに開始した「冒険遊び場における新たな子どもの仕事体験・居場所づくり推進事業」の展開により、中学生・高校生や、外国籍の親子、孤立しがちな親子などが訪れるようになり、プレイステーション全体の利用人数を底上げした。
質的	評価 a	評価理由等 子どもたちの仕事体験の場と中学生・高校生の居場所、乳幼児とその保護者が生き生きと安全に遊べる場所を保障する基本ができあがった。今後は、孤立しがちな子どもたちにある背景や課題から、地域の中で冒険遊び場ならではの居場所としての役割を見出していくことが大切である。
結果	評価	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A	B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
		C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
		※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課	
24	こくぶんじ青空ひろば	子ども子育て支援課	
事業内容			
市内の公園を活用し、児童へ安心して過ごすことのできる遊びの場を提供する。			
令和6年度目標			
量的	6公園		
質的	児童の放課後の居場所として、公園を活用した遊びの場が提供できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	6公園		
質的	児童の放課後の居場所として、公園を活用した遊びの場の提供ができている。		
令和4年度実績			
量的	6公園		
質的	児童の放課後の居場所として、公園を活用した遊びの場が提供できた。新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を徹底していたため、児童が放課後に安心して利用できる居場所となっていた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	実施公園6公園において継続して活動することができた。利用者も令和3年度同様に多くの方が登録・参加しており、継続利用の人も見られ、児童の放課後の居場所となり公園の自然の中での様々な遊びの提供ができていた。利用者が安心して安全に遊ぶことができるよう、協働事業の実施団体と連携して安全管理を適切に行いながら、引き続き事業を実施していく必要がある。
	a		
質的	評価	評価理由等	十分な新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に努めながら、屋外という利点を活かした活動を参加者たちに提供できた。また、利用者の年齢やニーズに合わせて、木工作や火起こし等の非日常的な活動を実施し、青空ひろばならではの経験を提供した。コロナ禍ではあったが、段階的に活動の充実ができた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
25	公園・緑地の整備	緑と公園課
事業内容		
公園・緑地の整備を行い、子どもを含む利用者が遊べる場を拡充する事業		
令和6年度目標		
量的	都市公園1か所の開園	
質的	市民が憩える場を整備し、子どもたちが安心・安全に過ごせる場所が増えている。	
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	「戸倉公園」の新設整備を行うため、事業認可を取得し、用地の一部を購入する。	
質的	市民目線の憩える場、子どもたちが安心・安全に過ごせる場を増やすために、事業認可取得及び用地の一部購入を行う。また、市民目線の憩える場、子どもたちが安心・安全に過ごせる場とするために、戸倉公園整備に関する市民懇談会を開催し、市民からの意見を聴く機会を設ける。	
令和4年度実績		
量的	戸倉公園の事業認可を令和4年10月14日取得した。 また、用地の一部（約1,300㎡）を購入した。	
質的	市民目線の憩える場、子どもたちが安心・安全に過ごせる場所を増やすために、事業認可を取得し、用地の一部を購入した。また、戸倉公園整備に関する市民懇談会を国分寺市立福祉センターにて8/18, 8/20に開催した。	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 a	評価理由等 戸倉公園の事業認可を取得し、用地の一部を購入したことによる。
質的	評価 a	評価理由等 戸倉公園整備における市民懇談会を開催した。
結果	評価	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A	B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
		C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
		※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
26	遊具の更新		緑と公園課
事業内容			
「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、遊具の更新をする事業			
令和6年度目標			
量的	令和2年度から延べ183公園の遊具を更新する。		
	老朽化した遊具を更新することで、子どもたちが安全・安心に利用できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、20公園の遊具更新を実施する。		
	老朽化した遊具を更新することで、子どもたちが安全・安心に利用できている。		
令和4年度実績			
量的	「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、18公園の遊具更新を実施した。		
	老朽化した遊具を更新することで、子どもたちが安全・安心に利用できた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	「公園・緑地の総合的な維持管理計画」に基づき、20公園の遊具点検を行った結果、17公園はAまたはB（全体的に健全）、3公園はC（全体的に劣化が進行している）判定以下となった。20公園の更新を行う予定であったが、全体的に健全であるAまたはB判定だった2公園の更新を見送ったことから、目標数を下回ったため。
	b		
質的	評価	評価理由等	遊具点検結果に基づく遊具更新により、危険な遊具がない状態にできた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
27	放課後子どもプラン		社会教育課
事業内容			
文部科学省の「放課後子供教室」と厚生労働省の「放課後児童健全育成事業」との連携事業。地域・学校・行政の連携による学校等を利用した安全で安心な子どもの居場所づくりを行う。			
令和6年度目標			
量的	市内全市立小学校10校で計1,700日以上実施		
	子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供している。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	市内全市立小学校10校で計1,600日以上実施		
	子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供している。		
令和4年度実績			
量的	市内全市立小学校10校で計1,367日実施。 新型コロナウイルス感染症の影響で一斉休止する期間がなかったことで、実施日数が前年度に比べ42.5%増となった。		
	基本的な新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じた上で、子どもが安心して過ごすことのできる放課後の居場所を提供した。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	実施日数としては、コロナ禍の昨年度（令和3年度）より大幅に増えた。また、参加人数についても新型コロナウイルス感染症が流行する前よりも増えた。今後も当面は基本的な感染症対策を講じながら、各校の実施委員会の協力のもと、全校で放課後子どもプランを実施していく。
	b		
質的	評価	評価理由等	コロナ禍でもできる、子どもにとって魅力的な企画を実施し、居場所を提供することができた。今後も実施委員会と協力し、様々な工夫を凝らした企画を実施しながら、子どもの居場所を提供していく。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和４年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

子どもや乳幼児等の親子連れに対する交通面での安全性確保のため、交通安全設備の設置、道路交通環境の整備及び交通安全学習については、方向性に基づき各事業を実施した。なお、通番29 交通安全運動市民のつどいの開催については、4年振りの開催により、交通安全の学習の機会を提供した。

安全なまちづくりに向けた体制の確保についても、方向性に基づき各事業を実施した。通番31 自主防犯活動団体及び地域防犯パトロール協力事業者による防犯活動の実施では、防犯まちづくり委員会での防犯活動に関する周知の充実や防犯用品の支給団体が増えたことなどより、引き続き各防犯活動の推進を図った。

子どもを取り巻く生活環境の安全確保のために実施している各種生活環境調査については、各事業で設定した目標どおり実施されており、その結果においても安全性が確認されている。

3 施策の進捗状況

順調に進んでいる。

通番31については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため活動が控えられたこともあるが、目的達成のための活動推進策が取られており、その他の事業については、方向性に基づき事業が実施されており、量的・質的目標ともに「達成した」という評価であった。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

通番30 交通安全教室の開催について、現在の実施方法での年2回の開催回数は、交通安全の取組としては少ないと思われるため、事業実施頻度や各回の対象者の拡充等について工夫することで、多くの子どもたちの交通安全意識を高められる仕組みを検討されたい。

子どもたちが犯罪に遭わないようにするために、安全なまちづくりに向けて具体的な検討や実施が重要である。過去の犯罪や事案等を参考に、今後の事業の実施方法等について検討されたい。

また、交通安全対策については、安全な道路環境の整備を進めるため、通番28 安全設備の設置により、交通安全施設を整備することや、通番29 交通安全運動市民のつどいの開催を通じて交通マナーやルールの周知を徹底することについて、警察とも連携しながら積極的な取組を進められたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
28	安全設備の設置		道路管理課
事業内容			
道路照明灯，道路区画線等の交通安全施設を整備することにより，交通危険箇所を解消し，交通事故の防止を図る。			
令和6年度目標			
量的	基準に基づき，優先順位をつけて設置		
質的	適正な場所に交通安全設備が設置され，子どもとその保護者を含めた市民の安全が守られている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	基準に基づき，優先順位をつけて設置		
質的	適正な場所に交通安全設備が設置され，子どもとその保護者を含めた市民の安全が守られている。		
令和4年度実績			
量的	基準に基づき，優先順位をつけ，道路区画線等路面表示の修繕を行った。 道路区画線等路面表示の修繕：8,164千円 道路反射鏡等修繕：134基4,546千円 道路照明灯修繕：78件13,704千円 道路反射鏡新設工事：2基186千円 街灯の修繕：61件3,205千円 LED灯新設工事：1,357千円		
質的	適正な場所に交通安全設備を設置し，破損等に対しては速やかな修繕を行ったことで，子どもとその保護者を含めた市民の安全が守られたと考える。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 a	評価理由等	優先順位をつけて設置したことにより，交通危険箇所を解消し，効果的に交通事故の防止につながるよう改善できた。
質的	評価 a	評価理由等	通学路点検等で要望のあがった危険箇所に対して，区画線の設置，修繕等の対策を行った。また，街灯のLED化を含め交通安全設備全般の整備を推進したことで，より子どもたちが安全かつ過ごしやすい道路環境づくりを進めた。
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
29	交通安全運動市民のつどいの開催		交通対策課
事業内容			
交通安全運動市民のつどいを開催し、交通安全に対する周知を行う。			
令和6年度目標			
量的	交通安全運動市民のつどいを年2回開催する。		
質的	交通安全を周知する事業として、交通安全運動市民のつどいを開催することで、交通マナー及びルールの周知を図る。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	交通安全運動市民のつどいを年2回開催する。		
質的	交通安全を周知する事業として、交通安全運動市民のつどいを開催することで、交通マナー及びルールの周知を図る。		
令和4年度実績			
量的	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響により、前年度まで開催中止になっていた交通安全運動市民のつどいを4年ぶりに2回とも開催することができた。		
質的	交通安全運動市民のつどいを通して、交通マナー及びルールの周知を図った。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標の年2回開催が達成できたため。
	a		
質的	評価	評価理由等	市民のつどいを通して、交通事故の傾向を参加市民と共有し、交通安全運動の機運を高め、交通マナー及びルールの周知を図った。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課	
30	交通安全教室の開催	交通対策課	
事業内容			
中学生等を対象としたスケアードストレイト方式の交通安全教室を開催する。			
令和6年度目標			
量的	交通安全教室を年に2回市立の中学校等で開催する。		
質的	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を伝えるとともに、交通安全意識を高める。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	市立中学在学時に一度は交通安全教室を受講できるように、毎年2校ずつ実施していく。令和4年度は、交通安全教室を第二中学校と第四中学校にて開催する。		
質的	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を伝えるとともに、交通安全意識を高める。		
令和4年度実績			
量的	交通安全教室を第二中学校と第四中学校にて各1回、合計2回開催した。		
質的	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を具体的に伝えるとともに、交通安全意識を高めることができた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	交通安全教室を第二中学校と第四中学校にて開催することができたため。	
	a		
質的	評価	スタントによるリアルな事故再現により、事故の発生事例を具体的に伝えられたことから、交通安全意識を高めることにつながったと考えているため。	
	a		
結果	評価	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。 B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。 C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。 ※ a, b及びcの評価指標についても同様	
	A		

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
31	自主防犯活動団体及び地域防犯パトロール協力事業者による防犯活動の実施	防災安全課
事業内容		
子どもたちの安全確保など防犯対策のため、防犯リーダー養成講習会を修了し、地域の自主防犯の中心として活動する市民が属する自主防犯活動団体や地域防犯パトロール協力事業者による防犯パトロール及び登校時や子どもの見守り放送を受けての下校時の見守り活動など防犯活動の実施を推進する。		
令和6年度目標		
量的	実施団体数 自主防犯活動団体数：56団体 協力事業者数：23事業者	
質的	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。	
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	実施団体数 自主防犯活動団体数：52団体 協力事業者数：21事業者	
質的	自主防犯活動団体及び協力事業者が各地域で活発に防犯活動を実施している。	
令和4年度実績		
量的	実施団体数 自主防犯活動団体数：37団体 協力事業者数：16事業者	
質的	令和4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を行った上で、各団体が小学校登下校時の子どもの見守り活動を行うなど、活発な防犯活動を行った。協力事業者数は横ばいではあるが、事業者の所有する車両による防犯パトロールを継続して実施した。	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 C	評価理由等 ホームページでの募集を継続して行い、その結果前年度比で自主防犯活動団体数は2団体の増、協力事業者数は前年度と同じだった。新規団体や事業者を増やすためにはホームページだけでは周知が不十分だったと捉えている。
質的	評価 a	評価理由等 自主防犯活動団体及び協力事業者は各地域で活発に防犯活動を行っており、質的目標に対する実績は達成した。
結果	評価 C	評価指標 A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
		C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
		※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
32	事件情報等の迅速な提供		防災安全課
事業内容			
事前に登録した市民等に不審者や事件情報等を電子メールで迅速に配信する。			
令和6年度目標			
量的	登録数：21,000件		
	市民等に事件情報等を迅速に提供する。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	登録数：20,000件		
	市民等に事件情報等を迅速に提供する。		
令和4年度実績			
量的	登録数：21,696件		
	市民等に事件情報等を迅速に提供した。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	防犯講座等でメール配信の登録方法を記載したチラシを配布し、周知を行ったことで登録者数が増加した。
	a		
質的	評価	評価理由等	特段の理由がある場合を除き、迅速に配信作業を行った。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
33	水質分析等調査		環境対策課
事業内容			
安全な河川等の水質調査として野川水質分析，湧水分析，野川水生生物，井戸水水質などの調査・分析を実施する。			
令和6年度目標			
量的	水質：年1回3地点 湧水：年7回2地点 水生生物：年1回1地点 井戸水：年1回20地点		
質的	潤いと安らぎを与える水辺環境を守り，子どもたちが水に関する文化や知識を深めることができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	野川水質分析：年7回3地点 湧水・池水水質分析：年6回4地点（姿見の池は年1回） 水生生物分析：年1回1地点 井戸水水質分析：年1回20地点 「むかしの井戸」有機フッ素化合物調査：年1回24箇所		
質的	潤いと安らぎを与える水辺環境を守るため，水質の調査・分析を実施し，子どもたちが水に関する文化や知識を深めることができている。		
令和4年度実績			
量的	野川水質分析：年7回3地点 湧水・池水水質分析：年6回4地点（姿見の池は年1回） 水生生物分析：年1回1地点 井戸水水質分析：年1回20地点 「むかしの井戸」有機フッ素化合物調査：年1回24箇所		
質的	調査・分析を行った結果，井戸水調査の2地点を除き，環境基準・参考基準に適合していることを確認した。このことから，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全に触れられる水辺環境を整えることで，子どもたちが水に関する文化や知識を深めることに繋がっていると考える。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標どおりの地点・回数において調査・分析を実施した。
	a		
質的	評価	評価理由等	子どもを取り巻く生活環境が安全に保たれるよう，水質の調査・分析を行い，安全性を把握した。子どもたちが水に関する文化や知識を深めることに繋がっていると考える。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
34	大気環境分析等調査		環境対策課
事業内容			
児童が通園・通学に利用する幹線道路沿線の大気調査，自動車排気ガス測定，自動車騒音・振動・交通量及び酸性雨等の調査を実施する。			
令和6年度目標			
量的	大気，排気ガス，騒音・振動：年1回7地点 酸性雨：毎月1地点		
	公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	大気環境調査（自動車排気ガス），騒音・振動調査：年1回7地点 酸性雨：毎月1地点		
	大気環境や騒音等について調査を実施し，状況を把握することで，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和4年度実績			
量的	大気環境調査（自動車排気ガス），騒音・振動調査：年1回7地点 酸性雨：毎月1地点		
	大気環境調査（自動車排気ガス）については，すべての地点，調査項目において，また，酸性雨についても環境基準以下であることを確認した。また，騒音・振動調査については，騒音が3地点で環境基準を超過していたが，全地点で要請限度以下であることを確認した。このことから公害等から良好な生活環境が守られており，子どもが安全・安心して通園，通学できた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標どおり地点・回数において調査を実施した。
	a		
質的	評価	評価理由等	調査の結果，子どもが安全・安心して通園・通学できる生活環境が担保されていた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課	
35	ダイオキシン類調査	環境対策課	
事業内容			
人体に有害な物質，ダイオキシンについて，学校，公園で隔年において大気，土壌の調査を実施する。			
令和6年度目標			
量的	大気の調査・分析実施回数：1回		
質的	公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	大気環境中のダイオキシン測定：年1回4地点（小中学校）		
質的	有害な物質であるダイオキシンの状況を把握することで，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できている。		
令和4年度実績			
量的	大気環境中のダイオキシン測定：年1回4地点（小中学校）		
質的	調査を行った4箇所の小中学校全てにおいて，環境基準以下であったことを確認した。このことから，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して生活できた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和6年度目標に向けた令和4年度目標のとおり調査を実施した。
	a		
質的	評価	評価理由等	調査・分析の結果，4地点全てにおいて環境基準以下であることが確認でき，子どもたちが安全に，かつ安心して生活することができた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
36	放射能対策		環境対策課
事業内容			
空間放射線量，給食食品等の放射性物質濃度，プール水・親水施設等の水の放射線物質濃度等の測定を実施する。			
令和6年度目標			
量的 質的	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づく測定の実施。		
	公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的 質的	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」に基づく測定を，令和3年度の国分寺市放射能対策委員会で見直しを行った頻度等で実施する。		
	市内の空間放射線量及び給食食材の放射性物質濃度を測定し，把握することで，公害等から良好な生活環境を守り，子どもが安全・安心して通園，通学ができています。		
令和4年度実績			
量的 質的	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」及び令和3年度の国分寺市放射能対策委員会で見直しに基づき，空間放射線量（中学校5校）の測定，給食食材の放射性物質濃度測定を行った。		
	空間放射線量（中学校5校）及び給食食材の放射性物質濃度ともに基準値以下であったことを確認した。このことから，子どもたちの安全が担保されていることを確認した。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	「国分寺市放射線対策に関する基本的な対応方針」及び令和3年度の国分寺市放射能対策委員会で見直しに基づいた測定を行うことができた。
	a		
質的 結果	評価	評価理由等	空間放射線量（中学校5校）及び給食食材の放射性物質濃度ともに基準値以下であることを確認したことから，子どもたちの安全が担保された。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様



国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和４年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

交流の場については、通番37 親子ひろば事業の充実や通番38 乳幼児母性健康相談において、妊娠中の方や子育て中の方が身近なところで気軽に交流できるよう、機会や場所の提供を行い、通番42 公民館保育室事業においては、保護者同士だけではなく、子ども同士の新しい関係づくりのきっかけの場を提供した。また、通番38では従来の来所に加えて、オンラインでの相談も実施したことで、気軽に相談できる環境の確保に努めた。

各種相談事業では、継続的に支援が必要な方に対し、通番37 親子ひろば事業においては子育て応援パートナー事業や関係機関等と連携しながら見守り支援を行い、通番38では、子育て世代包括支援センター事業で情報を整理し、地区担当保健師につなぎ、必要に応じて庁内各課や関係機関と連携し支援を行った。また、通番44 障害児相談支援では、個別相談のニーズを丁寧に把握し、必要なサービスが適切に提供されるよう関係機関と連携し、情報提供やサービスの調整等を行った。

保育サービスについては、多様な保育ニーズに対応するため、通番39 病児・病後児保育事務事業において、各連絡会での情報交換や職員の研修受講により保育の質の充実を図るなど、各事業において様々なサービスを提供した。

障害のある子どもへの支援については、通番43 障害児支援の提供体制の整備において、国分寺市障害者地域自立支援協議会や国分寺市医療的ケア児支援関係者会議において、地域課題の解決に向けて協議・検討を行い、通番40 障害児保育事業では、医療的ケアが必要な児童についても受入れを開始した。通番45 児童発達支援センターの設置では、利用者説明会や関係機関ヒアリングを実施し、求められる役割を整理した。

子育ての相互援助として、通番41 支援ニーズに応じたサービスの提供の充実においては、ファミリー・サポート・センター事業の援助会員の増加に向け、講習会の回数を増やすとともに、チラシ・ポスターにより講習会の周知に努めた。

医療費等の経済的支援については、通番46 義務教育就学児医療費助成事業において、新たに中学３年生までの世帯への所得制限を撤廃したことについて、事前に手続の周知を図った。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

本施策に掲げられている重点事業や施策の方向性の実施状況から、このとおりと判断するが、通番39 病児・病後児保育事務事業における手続の簡素化、通番41 支援ニーズに応じたサービ

スの提供の充実におけるファミリー・サポート・センター事業における利用会員及び援助会員の増加に向けた取組、通番45 児童発達支援センターの設置における施設整備については、令和6年度の目標達成又は方向性に基づく体制整備をすることができるよう、事業実施所管課において検討等を進めていく必要がある。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
37	親子ひろば事業の充実		子育て相談室
事業内容			
地域の中で孤立しがちな乳幼児とその保護者及び妊婦に対して，安心して立ち寄り，遊びと交流ができる場所と機会を提供するとともに，子育てについての相談を受けることや，情報の提供，助言その他の援助を行う。			
令和6年度目標			
量的 質的	親子ひろば12か所のうち地域子育て支援拠点事業実施箇所9か所		
	身近で気軽に子育てに関する相談に応じられる場となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的 質的	親子ひろば12か所のうち地域子育て支援拠点事業実施箇所8か所		
	身近で気軽に子育てに関する相談に応じられる場となっている。		
令和4年度実績			
量的 質的	親子ひろば12か所のうち地域子育て支援拠点事業実施箇所8か所		
	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため，外出を控えている乳幼児とその保護者が親子ひろばを利用するきっかけとなるよう，すべての親子ひろばにおいてイベントを企画し，SNS等を活用した広報を積極的に行い，身近で気軽に子育てに関する相談に応じられる場を提供した。 また，親子ひろば事業のサービスの質を向上するために，地区拠点親子ひろばが中心となり親子ひろば事業者連絡会（ひろば会議）を実施し，親子ひろば事業の課題等の共有を行った。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	目標どおりに実施することができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策のため，外出を控えていた乳幼児とその保護者は，これまで地域とつながる機会が減少しがちだったことから，遊びと交流の機会や，気軽に相談できる場を提供する親子ひろばを利用することで，地域とつながりを持つことができ，地域の中で孤立することを防止することができる。 親子ひろばが，乳幼児と保護者にとってより良い居場所となるよう，今まで以上に，スタッフのスキルアップが求められている。そのため，地区拠点親子ひろばが，親子ひろばスタッフを対象に研修等を実施することで，親子ひろばのサービスの質の向上を図っていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
38	乳幼児母性健康相談 (保健センターミニ相談会含む)		健康推進課
事業内容			
乳幼児の発育・発達の観察，保護者の育児不安を軽減することによって，母子の健康保持・増進を図る。			
令和6年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
質的	身近な場所で市民が専門職に相談することができ，育児の不安を軽減することができる。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
質的	身近な場所で市民が専門職に相談することができ，育児の不安を軽減することができる。		
令和4年度実績			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施，来所者数延べ210人 保健センターミニ相談会：21回実施，来所者数延べ126人		
質的	安心して身近な場所で市民が専門職に相談できるよう，乳幼児母性健康相談は一部（計測）については予約なしでも来所できるように工夫したほか，オンライン相談も実施することで来所が難しい場合でも相談を受けることが可能となった。各種相談を実施することで，育児に対する不安軽減となっている。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価 a	評価理由等	目標回数を実施することができた。
質的	評価 a	評価理由等	保護者の育児不安を軽減するため，身近な場所で市民が専門職に相談することができるように，相談方法をオンラインでも可能にするなど，多くの方に利用していただけるよう工夫，検討をした。令和5年度からは，乳幼児母性健康相談を予約なしでも来所できることとしているが，多くの方に相談をしてもらえるように周知の仕方を工夫する必要がある。
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
39	病児・病後児保育事務事業		保育幼稚園課
事業内容			
病後児保育事業は保育施設に入所している児童の病気の回復期に集団保育を受けることが困難な場合に児童を一時的に預かる事業である。 また病氣中に自宅保育が困難な場合に実施する事業が病児保育事業である。			
令和6年度目標			
量的	5施設(22人 内7人)		
	質の高い病児・病後児保育が実施され、手続が簡略化されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	5施設(22人 内7人)		
	質の高い病児・病後児保育が実施され、手続が簡略化されている。		
令和4年度実績			
量的	5施設(22人 内7人) ※都立小児総合医療センター病児・病後児保育室は、令和3年度は国分寺市民の利用に至らなかったが、令和4年度は利用が増加した。定員は、当面の間半数の運用だが、国分寺市民の利用希望があり、他自治体の空き枠がある場合は、当初予定されていた定員数まで受入可能となっている。		
	新型コロナウイルス感染拡大防止対策のため、利用は激減したが、病児・病後児保育に従事する職員が研修を受講することにより質の高い病児・病後児保育を実施するための支援ができた。病児・病後児保育保護者負担金の支払いについては、手続を簡略化するための有効な手段を導入するまでには至っていないが、登録・予約システム等も含め他自治体や他の病児・病後児保育施設での実施状況等情報収集に努めた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	都立小児総合医療センター病児・病後児保育室において、当面の間定員の半数運用とされ、他自治体の空き枠があった際のみ当初予定された定員分利用となっているため。
	b		
質的	評価	評価理由等	病児・病後児保育に従事する職員が研修を受講することにより、質の高い保育を実施するための支援はできたが、手続の簡素化については、有効な手段の導入に至らなかったため。
	c		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	C		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
40	障害児保育事業		保育幼稚園課
事業内容			
保育所において、保育に欠け、かつ、心身に障害がある児童を当該障害児のよりよい心身発達と豊かな人間性の育成に資するため、適切な環境のもとで保育が実施できるよう支援する事業である。各保育所が、心身に障害がある児童を受け入れるに当たり、適切な環境・体制を整えるため、保育士等の加配などに対して補助を行う。			
令和6年度目標			
量的	受入施設数：26施設		
	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	受入施設数：22施設		
	職員加配に対する補助を実施することで、適切な環境・体制で保育を実施できるようにする。		
令和4年度実績			
量的	受入施設数：30施設		
	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、適切な環境・体制で保育を実施できた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標を上回る施設が受け入れを行ったため。
	a		
質的	評価	評価理由等	職員加配に対する補助を実施することで、障害児のための職員が配置され、障害児の安全と安心が図られ、個別対応した保育が実施できた。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
41	支援ニーズに応じたサービス提供の充実		子育て相談室
事業内容			
ファミリー・サポート・センター事業，育児支援ヘルパー，ひとり親家庭ホームヘルプサービス，ショートステイの4サービスについて，必要とする方の支援ニーズに応じたサービスの周知及び提供を行う。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
質的	必要としている市民が利用している。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター事業 利用件数 5,878件 ・育児支援ヘルパー 利用実世帯数 100世帯 ・ひとり親家庭ホームヘルプサービス 利用実世帯数 15世帯 ・ショートステイ 利用日数 41日 		
質的	必要としている市民が利用している。		
令和4年度実績			
量的	<ul style="list-style-type: none"> ・ファミリー・サポート・センター事業 利用件数 4,515件 ・育児支援ヘルパー 利用実世帯数 74世帯 ・ひとり親家庭ホームヘルプサービス 利用実世帯数 16世帯 ・ショートステイ 利用日数 61日 		
質的	事業の周知や他の事業との連携により，サービスを必要としている市民が利用できた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大の影響もあり，半分の事業が目標値を下回っている。
	C		
質的	評価	評価理由等	他機関等と連携しながら，支援を必要としている家庭に対して，必要なサービスを利用していただくことができた。引き続き，必要としている家庭にサービスを提供するため，事業周知と他機関等との連携を図る。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
			B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
42	公民館保育室事業		公民館課
事業内容			
就学前の子どもがいる親の学習活動を支援するため、保育・託児付の事業を実施する。 また、公民館で活動するグループの学習活動を支援するため、グループ活動に合わせた保育を実施する。			
令和6年度目標			
量的	実施事業数：20事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い子を持つ親の学習権を保障し、落ち着いて学習する環境をつくることができている。 ・ 幼い子を持つ親が学習活動を通じ、地域の中で仲間をつくる機会を持つことができている。 ・ 保育室に預けられた子どもも地域でともに育つ仲間づくりができている。 		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	実施事業数：20事業		
	<ul style="list-style-type: none"> ・ 幼い子を持つ親の学習権を保障し、落ち着いて学習する環境をつくることができている。 ・ 幼い子を持つ親が学習活動を通じ、地域の中で仲間をつくる機会を持つことができている。 ・ 保育室に預けられた子どもも地域でともに育つ仲間づくりができている。 の3つを目標に、公民館5館で実施する保育・託児付事業を通して、幼い子を持つ親に対して学習機会の充実及び地域での仲間づくりの場が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和4年度実績			
量的	全館合計で34事業の保育・託児付の事業を実施。		
	5館平均満足度 97.26%		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に努めながら、5館それぞれが、就学前の子どものいる親のため、地域性と施設の特色を生かしながら、保育及び託児付き事業の充実を図った。
	a		
質的	評価	評価理由等	実施した事業については、それぞれ参加者から概ね高い満足度が得られた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
43	障害児支援の提供体制の整備		障害福祉課
事業内容			
地域支援体制を構築するとともに、児童のライフステージに応じた切れ目のない支援と、保健、医療、福祉、保育、教育、就労支援等と連携した支援を提供する体制を整備する。			
令和6年度目標			
量的	児童福祉法に基づく障害のある子どもが通所により利用できるサービスの各年度末月における月間の利用見込数 ※障害児福祉計画による		
質的	主に重症心身障害児を支援する市内事業所の確保とともに、医療的ケア児支援の協議の場が設置されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	児童福祉法に基づく障害のある子どもが通所により利用できるサービスの令和4年度末月における月間の利用人数 ※障害児福祉計画による 児童発達支援：115人 放課後等デイサービス：219人		
質的	主に重症心身障害児を支援する市内事業所が新たに確保されているとともに医療的ケア児支援の協議の場が定期的に運営され、地域課題やニーズが抽出されている。		
令和4年度実績			
量的	事業所の整備及び市民の障害への理解が進んだこと等によりサービスの利用者が大幅に増加した。 児童発達支援：171人 放課後等デイサービス：269人		
質的	主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所の開設に向けて、開設予定事業者と協議を行った。国分寺市医療的ケア児支援関係者会議については3回開催した他、医療的ケア児及び家族に対面での聞き取り調査を行い、より実情に即した地域課題や支援ニーズの抽出を行った。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	事業所の整備及び市民の障害への理解が進んだこと等によりサービスの利用者が引き続き増加し、令和4年度の目標を達成した。今後の利用者の増加に備えて、児童発達支援及び放課後等デイサービスの事業所の確保に引き続き取り組んでいく。
	a		
質的	評価	評価理由等	主に重症心身障害児を支援する児童発達支援事業所開設の目途が立った。また、医療的ケア児及び家族に対面での聞き取り調査を行い、より実情に即した地域課題や支援ニーズの抽出を行った。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
44	障害児相談支援		障害福祉課
事業内容			
障害児通所支援等を利用する方の心身の状況や環境等を勘案し、利用するサービスの内容等を定めた障害児支援利用計画を作成する。			
令和6年度目標			
量的	各年度の末月における月間の利用見込数 ※障害児福祉計画による。		
質的	障害児通所支援等のサービスが適切に提供されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	令和4年度の末月における月間の利用人数 ※障害児福祉計画による。 障害児相談支援：55人		
質的	障害児通所支援等を利用する方の心身の状況や環境等を勘案し、利用するサービスの内容や達成目標等を定めた障害児支援利用計画が作成され、事業所においては、障害児支援利用計画を踏まえた個別支援計画により、サービスが適切に提供されている。		
令和4年度実績			
量的	児童発達支援及び放課後等デイサービスの利用者が大幅に増加したことに伴い、障害児相談支援の利用者が大幅に増加した。また、障害児相談支援を行う事業所が2箇所新規開設された。 障害児相談支援：101人		
質的	相談支援事業所連絡会（年12回）、障害児通所支援事業所連絡会（年2回）、相談支援事業者に対する専門的な指導・助言（年10回）及び相談支援事業者向け研修（年10回）を実施し、課題の共有や意見交換を行ったことで、支援の質の向上に努めた。また、利用者は障害児支援利用計画を踏まえて個別支援計画により、サービスが適切に提供された。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	児童発達支援及び放課後等デイサービスの利用者が大幅に増加したことにより、障害児相談支援の利用者が大幅に増加し、目標を達成した。今後の利用者の増加に備えて、障害児相談支援事業所の確保に引き続き取り組んでいく。
	a		
質的	評価	評価理由等	個別のニーズをふまえた質の高い相談支援を行っていくため、事業所及び障害者基幹相談支援センターと連携し情報共有や意見交換を実施するとともに、障害児相談支援が逼迫している現状を踏まえて、相談支援専門員の負担軽減を図る取組を引き続き進めていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
45	児童発達支援センターの設置		子育て相談室
事業内容			
未就学児童の児童発達支援、18歳未満の障害のある児童や発達が遅れている児童とその家族を対象とした相談及び支援を行う。また、保育所等訪問支援を実施し専門的支援も行う地域の中核的な療育支援施設として整備する。			
令和6年度目標			
量的	1か所		
質的	地域の中核的な療育支援施設として整備されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	課内で取りまとめた児童発達支援センター設置の方向性について、関係部署との検討を踏まえ、市民に説明等を行う。		
質的	関係部署との検討や市民への説明を通して聴取された意見が、児童発達支援センターにおける事業内容や機能に反映されている。		
令和4年度実績			
量的	庁内で取りまとめた児童発達支援センター設置の方向性について、利用者説明会及び関係機関ヒアリングを実施し、市民及び関係機関の意見を聴取した。 利用者説明会 34回 128名参加 関係機関ヒアリング 34団体		
質的	市民及び関係機関の意見を踏まえ、児童発達センターの方向性や求められる役割を取りまとめた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	児童発達支援センターの設置について、庁内での意見を取りまとめたうえで利用者への説明会及び関係機関へのヒアリングを行うことができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	利用者への説明会及び関係機関へのヒアリングなどで出された意見について検討し、センターの方向性や求められる機能の大枠に反映し、決定することができたが、詳細までの決定には至らず、令和6年度に向け引き続き検討が必要となった。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
46	義務教育就学児医療費助成事業	子ども子育て支援課
事業内容		
義務教育就学期にある児童の医療費の自己負担分を助成。ただし、通院1回につき200円の一部負担金あり。児童手当に準拠した所得制限あり。国や東京都へ制度の拡充を要請する。		
令和6年度目標		
量的	事業評価は数値化しづらい。	
質的	制度周知による申請漏れを防ぐことにより、義務教育就学児家庭の経済的な負担が軽減されている。	
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	目標は数値化しづらい。	
質的	義務教育就学児家庭の経済的な負担を軽減するため、制度周知を行い申請漏れを防ぐ。	
令和4年度実績		
量的	受給者数：9,343人	
質的	義務教育就学児家庭の経済的な負担を軽減するため、制度周知を行うことで申請漏れを防ぎ、医療費の自己負担分を助成した。また、平成29年10月より小学1年生から3年生まで、令和4年10月より中学3年生までの世帯への所得制限を撤廃し、より多くの対象者の経済的負担軽減を行った。	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 b	評価理由等 平成29年10月より小学1年生から3年生まで、令和4年10月より中学3年生までの世帯への所得制限を撤廃（市単独事業）した。また、より多くの対象者の経済的負担軽減を実施できたことから、量的充実を図ることができたため。
質的	評価 b	評価理由等 制度拡大により多くの対象者の経済的負担軽減を実施できた。また、制度周知（市報・チラシ）により、申請漏れを防ぐことで、一定の目標達成を果たした。
結果	評価	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B	B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
		C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
		※ a, b及びcの評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和４年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

育児不安の軽減を図るため、通番47 乳幼児母性健康相談では、母子にとって身近な場所で専門職に相談ができるよう、対面だけではなくオンラインで実施したほか、ゆりかご・こくぶんじ面接や妊娠中のフォロー電話にて必要なサービスや事業の紹介、相談を行った。また、疾病の早期発見・早期治療と親子の健康維持、障害の早期発見・療養につながるよう、通番48 乳幼児健康診査を通じて確認のできた支援の必要な乳幼児や保護者の状況を専門職で共有し、地区担当保健師による継続的な支援（電話・面接・訪問）を行っている。

食育については、通番47において、成長・発達段階に応じた食に関する情報を提供し、通番49 各種栄養関連事業においては、関係各課と連携した講座を実施し、推進を図っている。

休日においても、必要な時に医療機関を受診することができるよう、通番50 休日診療・休日準夜診療事業では、医療体制の提供を行うとともに、市報、市ホームページ及び東京都医療機関案内サービス（ひまわり）へ医療機関の情報を掲載するほか、都立小児総合医療センターや、こどもの救急サイト、#7119東京消防庁救急相談センター、ぶんじ子育てナビに関する情報についても併せて掲載することにより、受診の目安や救急対応に関する情報についても活用できるようにしている。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

通番48 乳幼児健康診査については目標の達成ができなかったものの、その他の事業については量的・質的ともに目標値を「達成した」となっており、また、全ての事業が方向性に基づき実施された。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

通番48 乳幼児健康診査については、令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標において、100%に近い健診受診率を量的目標として掲げ、結果、令和4年度実績としては、おおむねその目標を達成した。健診未受診の理由について確認したところ、例年、各家庭のやむを得ない事情等が含まれており、令和6年度目標として掲げる受診率100%を現在の仕組みで達成することは難しいことが予想される。今後の事業実施においては、実現可能な目標設定について検討されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課	
47	乳幼児母性健康相談（保健センターミニ相談会含む）	健康推進課	
事業内容			
乳幼児の発育・発達の観察，保護者の育児不安を軽減することによって，母子の健康保持・増進を図る。			
令和6年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
質的	身近な場所で市民が専門職に相談することができ，育児の不安を軽減することができる。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 保健センターミニ相談会：20回実施		
質的	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を実施し，安心して身近な場所で市民が専門職に相談する場となっている。またオンラインでの相談を開始することで，新型コロナウイルス感染症に不安を持つ市民も相談の場を利用することが可能となり，市民の育児の不安を軽減することができる。		
令和4年度実績			
量的	乳幼児母性健康相談：9回実施 来所者数210人（延べ） 保健センターミニ相談会：21回実施 来所者数126人（延べ）		
質的	安心して身近な場所で市民が専門職に相談できるよう，乳幼児母性健康相談は一部（計測）については予約なしでも来所できるように工夫したほか，オンライン相談も実施することで来所が難しい場合でも相談を受けることが可能となった。各種相談を実施することで，育児に対する不安軽減となっている。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標回数を実施することができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	保護者の育児不安を軽減するため，安心して身近な場所で市民が専門職に相談できるよう，乳幼児母性健康相談はオンラインでも相談可とした。また一部（計測）については予約なしでも来所できるよう，多くの方に利用していただけるよう工夫した。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a，b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名	所管課
48	乳幼児健康診査 (3～4 箇月児健康診査・1 歳6 箇月児健康診査・3 歳児健康診査)	健康推進課
事業内容		
乳幼児に対する健康診査など保護者の育児支援を実施し、乳幼児及び保護者の健康保持増進・育児支援・虐待予防・発育発達上の早期発見・早期支援を図る。		
令和6年度目標		
量的	健診受診率100%	
質的	病気・障害・要支援家庭の早期発見と育児中の保護者の育児不安軽減など虐待予防の視点をもって育児支援につなげる。	
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標		
量的	3～4 箇月児健康診査受診率97.0%, 1 歳6 箇月児健康診査受診率96.0%, 3 歳児健康診査受診率94.0% (すこやか親子21の中間評価目標値)	
質的	乳幼児健診を通じ、支援の必要な対象児や保護者の状況を把握する。各専門職が対象児の疾病の早期発見や虐待予防・育児支援の視点をもって関わり、必要な相談者に対しては情報提供や関係機関との連携により支援し、育児不安の軽減を図る。	
令和4年度実績		
量的	3～4 箇月児健診は令和4年度より医療機関の個別健診に移行した。1 歳6 箇月児健診は24回、3 歳児健診は28回実施。各受診者数（集団・個別の受診者数合算）/受診率（乳幼児の数として）3～4 箇月児925人/96.1%, 1 歳6 箇月児962人/95.4%, 3 歳児878人/75.8%	
質的	3～4 箇月児健診は個別健診となり、適切な時期に受診できるようになった。1 歳6 箇月児健診・3 歳児健診は、集団健診を基本としつつ、医療機関での個別受診も実施。支援の必要な方が地区担当保健師とつながるよう医療機関との連携を積極的に実施した。医療機関受診後は結果を確認し必要に応じて保健師が個別に電話相談を行った。未受診者には再度電話連絡や手紙を送付して健診案内をするとともに、未受診アンケートで状況を把握し、連絡がつかない方や返信のない方には保健師が訪問を実施し、受診案内・個別支援を行った。	
令和4年度実績に係る評価及び課題		
量的	評価 b	評価理由等 3～4 箇月児健診は個別受診に移行したが受診率の大きな変動は見られなかった。1 歳6 箇月児健診・3 歳児健診は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止のため個別健診も併用実施したが、目標には達成できなかった。
質的	評価 b	評価理由等 支援の必要な方が地区担当保健師と繋がるよう医療機関との連携を積極的に行い、保護者や子どもの心身の状況を把握することができた。各専門職が対象児の疾病の早期発見、虐待予防・育児支援の視点をもって関わることもできるよう、研修などを通じて支援者のスキルアップを継続する必要がある。
結果	評価	評価指標
	B	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
		C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
※ a, b 及び c の評価指標についても同様		

重点事業評価シート（令和４年度）

通番	事業名		所管課
49	各種栄養関連事業（離乳食講習会・両親学級・食育講座）		健康推進課
事業内容			
各種栄養関連事業を食育事業に位置づけ、食育の推進を図る。			
令和６年度目標			
量的	離乳食講習会：年24回 両親学級わくわくクラス：年４回以上 食育講座：年３回以上 栄養講座：年３回以上		
	妊婦・乳幼児・保護者の健康の保持・増進を図る。参加者が今後の食生活や子育てなどについて自信を持つきっかけや方法を学ぶ。		
令和６年度目標達成に向けた令和４年度目標			
量的	離乳食講習会：年24回 両親学級わくわくクラス：年４回以上 食育講座：年３回以上 栄養講座：年３回以上		
	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じながら、それぞれのライフステージに合わせた講座を開催し健康の保持・増進を図る。参加者が今後の食生活や子育てなどについて自信を持つきっかけや方法を学ぶ。		
令和４年度実績			
量的	離乳食講習会：年24回 両親学級わくわくクラス：年４回 食育講座：年３回 栄養講座：年５回		
	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策を講じながら、それぞれのライフステージに合わせた講座を開催し、グループワーク・実習・試食等を行うことで健康の保持・増進を図った。それぞれの受講者アンケートでは、「参考になった」、「これからの生活に活かしたい」等の回答が多く、今後の食生活や子育てなどについて自信を持つきっかけを提供できた。		
令和４年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標開催数に達することができているため。
	a		
質的	評価	評価理由等	新型コロナウイルス感染症感染拡大防止に配慮し、内容を工夫しながら実施した。受講者アンケートから、今後の食生活や子育てなどについて自信を持つきっかけができたことが伺えたため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和４年度目標を達成した。
	A		B：令和６年度目標に向けた令和４年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和４年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
50	休日診療・休日準夜診療事業		健康推進課
事業内容			
日曜・祝日・年末年始の昼間及び準夜に外来急病患者に対する診療を行う事業。医師会・歯科医師会に委託し、市内医療機関の輪番方式で実施する。			
令和6年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
質的	必要としている市民が受診できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	事業評価は数値化しづらい。		
質的	休日の診療環境を整え、必要としている市民が受診できている。		
令和4年度実績			
量的	休日診療受診者数 【医科】休日：1,875 準夜：137／【歯科】休日：237 準夜：36 新型コロナウイルス感染症の影響は継続していたが、医師会・歯科医師会・薬剤師会の協力のもと、市民が利用可能な休日診療体制を整えた。また、歯科については前年度等の状況を踏まえ、年末年始に対応可能な歯科の医療機関を増やし、体制強化を図った。新型コロナウイルス感染症の感染状況が落ち着いてきたことから、受診者数は回復傾向にある。		
質的	休日の診療環境を提供することで、休日であっても医療等を受けることができ、市民が安心して生活することができる環境を確保した。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	量的実績値から、受診者数が回復傾向にあり、必要としている市民が必要な時に医療機関を受診できていると評価した。
	a		
質的	評価	評価理由等	休日の診療環境の提供により、市民が安心して安全な生活を送ることができる環境を確保できていると判断した。また、小児科については、その専門性等も踏まえ、近隣にある都立小児総合医療センターに設置されている小児ERの情報提供等を引き続き行っていく必要がある。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和4年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

子どもの権利については、通番51 学校全体での人権教育の取組の充実において、各校の実態に応じ、全校で人権集会や人権標語づくり、人権メッセージや人権作文の発表会等の取組を行った。また、通番52 障害への理解促進・普及啓発事業での「ヘルプマーク」・「ヘルプカード」の普及啓発活動や「心のバリアフリー」を推進するための普及啓発グッズの作成・市内小学校の児童への配布により、市民への啓発や子どもの視点に立った施策の実現に努めた。通番53 たがいの性や性の多様性を理解し、尊重するための学習機会の提供では、セクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツに関する講座の実施や、通番54 児童虐待防止に関する啓発活動と共催で児童虐待及び性暴力防止に関するワークショップ、パネル展示やライトアップ等のキャンペーンを実施した。この他、体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が地域で広まるよう、通番54では、「体罰によらない子育て」について、リーフレットの配架やホームページでの普及啓発を実施し、「子ども専用相談電話（通称こそでん）」の広報として、市内公立小中学校において校内放送での案内を行い、全生徒に「こそでんカード」の配布を行った。

なお、「こそでんカード」配布時には、虐待の防止に関するリーフレットを併せて配布している。

障害のある子ども、外国にルーツを持つ子ども、LGBT等である子ども等も含め、全ての子どもの個々の権利や個性が、あらゆる場面で守られるよう、障害、異文化、多様な性等に対して理解を深める事業や啓発事業を実施するため、通番51では、各校の人権教育推進委員が近隣市の人権尊重教育推進校の研究発表会へ参加し知見を深めるとともに、自校の人権教育の取組に生かし、通番52では、障害者週間に合わせた障害者の作品展示、啓発ポスターの作成やマナーセミナーの開催といった啓発事業を実施した。通番53では、外国籍等の児童・生徒のための日本支援サポーター派遣事業やボランティア養成講座の実施、セクシュアル・マイノリティ支援事業として、多摩地域と連携した若年層当事者の居場所づくり事業（月1回）や職員研修、市民向け講座の実施により、意識啓発を行った。

いじめについては、通番56 いじめ防止に向けた取組の充実において、「弁護士によるいじめ予防授業」や「いじめ防止児童会・生徒会フォーラム」等の啓発事業を実施し、特に「いじめ防止児童会・生徒会フォーラム」では、「国分寺市『すべての人を大切にすまちな宣言』」を実現するために、いじめ防止を手掛かりに自分たちができることを考え、協議し、その内容を各校の取組に生かした。

児童虐待の防止・予防対策の充実としては、体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が地域で広まるよう普及啓発に努めるため、通番55 児童虐待に対する早期発見・深刻化防止では、養育環境に不安のある家庭からの問い合わせがあった場合には、各関係機関が提供している必要なサービスを案内し、育児負担の軽減を図れるよう努めている。また、

要保護児童対策地域協議会を核として、各関係機関と密な連携を図っており、保育所・幼稚園・小中学校への巡回相談、民生委員・児童委員・母子父子自立支援員・スクールソーシャルワーカーとの連絡会議に参加するなど活動を拡充している。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

通番51 学校全体での人権教育の取組の充実については、令和4年度目標・実績が、誰を対象にどのような人権教育の取組を実施したのかが読み取りづらい記載となっている。今後については、その点が読み取れるよう記載方法について検討されたい。

通番55 児童虐待に対する早期発見・深刻化防止では、令和4年度目標（量的目標）が、「事業評価は数値化しづらい。」としており、令和4年度実績では、関係機関と連携した件数として、通報や相談があった場合に必要に応じて連携した件数を挙げており、予め目標設定を行い取り組むことが難しい内容となっている。このことから、今後は例えば通報や相談があった場合に解決した割合など、数値化した目標に対して主体的に取り組む、評価できる仕組みについて検討されたい。また、当該事業内容は、児童虐待の未然防止が趣旨として含まれることから、事後対応ではない視点からの目標設定についても併せて検討されたい。

通番56 いじめ防止に向けた取組の充実について、令和4年度の量的実績において、学校が何件のいじめを認知して対応を図ったのかが読み取れないため、今後は定量的に実績が把握できる記載方法について検討されたい。また、学校は、子どもが嫌な思いをしたと訴えた件についてすべて聞き取りを行い、対応を図ったとあるが、例えば、嫌な思いをしたと訴えた子どもたちが、学校側の対応についてどのくらい満足したのかといった視点でも定量的に評価できる仕組みを検討されたい。なお、同事業は、いじめ防止教育の充実に取り組む事業であるのに対し、目標や実績の記載内容は、いじめが発生した際の事後対応に視点がおかれた内容となっていることから、事業内容の趣旨にあわせた取組への評価ができるよう、その視点に重点を置いた目標設定等について検討されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

「国分寺市の評価」のとおりとする。

3 施策の進捗状況

「国分寺市の評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
51	学校全体での人権教育の取組の充実		学校指導課
事業内容			
人権について重点的に考える人権週間に合わせて、全市立小・中学校で、人権集会や人権標語づくり、人権メッセージや人権作文の発表会等の取組を充実するとともに、人権教育推進委員会作成のリーフレットを活用して、人権教育の指導の充実を図る事業			
令和6年度目標			
量的 質的	全校が人権教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施できている。		
	人権教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的 質的	全校が人権教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施している。		
	「すべての人を大切にするまち宣言」と関連させながら、人権教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和4年度実績			
量的 質的	全校が人権教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づいて実施した。		
	人権教育推進委員会において、『すべての人を大切にするまち宣言』に基づいた児童・生徒の意識を高めるための教育活動の展開を目指した。本委員会では、宣言と関連する指導案の作成や、宣言の実現を目指した各校の取組等をまとめた指導資料を作成し、3月末に全校に配布した。次年度の授業等で活用するよう周知した。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	全校が学校経営方針に人権教育の取組を記載するとともに、人権教育全体計画等の見直しや改善を行った。また、これらの計画に基づき、各校の実態に応じた取組を進めることができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	各学校に「人権教育推進委員会で作成した人権教育推進資料等を活用し、授業改善を図った学級の割合」を調査した結果、小・中学校共に、全学級が人権教育推進委員会の指導資料等を活用して、授業改善を図っていた。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
52	障害への理解促進・普及啓発事業		障害福祉課
事業内容			
障害を理由とする差別の解消を推進するため、障害及び障害のある人に対する理解の促進を図り、普及啓発に努める。			
令和6年度目標			
量的	市主催の障害への理解促進に関する啓発活動を年12回実施している。		
質的	障害への理解促進，差別解消に関する講演会等や障害者週間行事を開催している。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	障害者週間行事の取組として障害のある人が講師となるユニバーサルマナーセミナーを開催する。また、障害のある人の作品展示を1回実施し、啓発ポスターを普及する。ほか様々な手法を取り入れ障害への理解促進に関する啓発活動を年13回実施している。		
質的	障害者週間に合わせた障害者の作品展示及び啓発ポスター掲示について、市内公共施設にとどまらず、地域活性化包括連携協定を活用し、国分寺駅ビルを中心にいき、幅広い市民に啓発を行う。		
令和4年度実績			
量的	障害者週間行事として、ユニバーサルマナーセミナーを開催した。また、障害者週間の啓発ポスターを作成し、障害のある人の作品展示と合わせて市内各所に掲示を行った。「ヘルプマーク」、「ヘルプカード」の普及啓発活動を防災訓練、ガイドヘルパー養成講座、防災まちづくり学校、市内小学校等において、計13回行った。		
質的	障害者週間に合わせて、セミナーを開催し、また障害のある人の作品展示を国分寺駅ビル等広く市民の目に届く場所で行った。ポスター掲示については、地域活性化包括連携協定参加団体、駅構内、医療機関、自治会及び町内会、特別支援学校等多岐に渡り掲示依頼を行い、広く障害及び障害がある人への理解促進に関する啓発に努めた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	年1回の障害者週間に合わせて障害のある人の作品展示を行い、その他障害への理解促進に関する啓発活動を計13回行うことができ、目標を達成した。今後も引き続き、啓発活動の場の確保に取り組んでいく。
	a		
質的	評価	評価理由等	様々な媒体を活用し、広く障害及び障害がある人への理解促進に関する啓発を行うことができたほか、障害のある人を講師として招き、ユニバーサルマナーセミナーを開催した。今後も、より広く市民が障害理解への関心を持つことができるような講演・行事の開催に取り組んでいく。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
53	たがいの性や性の多様性を理解し、尊重するための学習機会の提供		人権平和課
事業内容			
男女平等推進センターにおける講座等を通じて、「リプロダクティブ・ヘルス／ライツ(性と生殖に関する健康／権利)」及び性の多様性への理解促進を図る。			
令和6年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
	性の尊重や生殖に関する自己決定権について、定期的に情報を提供することや啓発する講座を開催している。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	毎年又は隔年で1回の講座実施		
	性の尊重や生殖に関する自己決定権について、定期的に情報を提供することや啓発する講座を開催している。		
令和4年度実績			
量的	7月に小・中学生向けデートDV防止講座を、10月11日の国際ガールズ・デーには若年層のデートDV防止及びセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツを学ぶ講座を開催した。 また、新たに10月11日前後1週間に、東京経済大学の学生と協力し、デートDV防止などに関するポスターを作成してパネル展示を行った。11月18日（金）に市民向け性の多様性講座を実施し、1月30日（月）には職員研修を行った。多摩地域と連携し、若年層セクシュアル・マイノリティ支援事業を開始した。		
	令和3年度に引き続き、10代～20代前半の市民等を対象として講座を実施したほか、東京経済大学の学生と協力してデートDV防止や男女共同参画に関するポスターを作成し、市民に情報提供を行った。それに先立ち、包括連携協定を結んでいる専門学校・大学等に周知を依頼した結果、学生世代の参加が昨年より増えたほか、デートDVサバイバーや市内で活動する保健師等の参加もあり、意識啓発に効果的であった。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	目標である年1回の講座開催を達成し、加えてパネル展示やリーフレット配架等で東京経済大学の学生と協力し、新たに啓発活動を実施した。
	a		
質的	評価	評価理由等	年間を通しセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツやジェンダー、デートDV防止をテーマとした講座を複数回実施し、学習の機会を提供したほか、パネル展示の実施など継続して情報提供を行った。講座の内容についてはアンケート回答者全員が「よかった」「とてもよかった」と回答しており、当事者に向けたセクシュアル・リプロダクティブ・ヘルス・ライツに関する有益な情報発信ができた。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
54	児童虐待防止に関する啓発活動		子育て相談室
事業内容			
「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」に基づき、以下の事業を実施 ①市報・ホームページ掲載 ②講演会の実施 ③全小・中学校への訪問啓発 ④街頭での防止キャンペーンの実施			
令和6年度目標			
量的	①～④ 各1回/年実施		
質的	体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が広まっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	①～④ 各1回/年実施 新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策が継続的に必要な場合、代替案も検討し、実施できている。		
質的	体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解が広まっている。		
令和4年度実績			
量的	①市報は毎月、ホームページは常時、児童虐待の通告先や市が実施している子ども専用相談電話（こそでん）等の連絡先を掲載した。 ②令和4年11月5日に講演会（いきいき子育てのヒント）を実施。参加人数67人。 ③市内公立小・中学校へ訪問し、子ども専用相談電話についての啓発を校内放送で実施するとともに、「こそでんカード」を全生徒に配付した。 ④街頭キャンペーンの実施に替えて、虐待防止月間(11月)と女性に対する暴力をなくす運動(11月12日～11月25日)期間中に、人権平和課と共催でパネル展示や国分寺駅北口駅前広場の木にイメージカラーのオレンジ及びパープル色のライトアップ等を実施。		
質的	①～④の実施により、体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解について普及啓発を図ったことで、理解が広まるように努めた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	代替も含めて、4事業すべて実施した。
	a		
質的	評価	評価理由等	①～④の実施により、体罰や暴力が子どもに及ぼす影響と体罰によらない子育てに関する理解について普及啓発を図った。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b 及び c の評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
55	児童虐待に対する早期発見・深刻化防止		子育て相談室
事業内容			
児童虐待の未然防止・早期発見のため、保育施設・学校巡回、研修の実施により、養育環境に不安のある児童の共有、通告の必要性に対して、関係機関の理解を得る。また、関係機関の密な連携を図り、虐待の深刻化を防止する。			
令和6年度目標			
量的 質的	事業評価は数値化しづらい。		
	庁内・庁外連携が図れており、児童虐待の未然防止・早期発見を行うことができ、虐待の深刻化を防止できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的 質的	事業評価は数値化しづらい。		
	庁内・庁外連携が図れており、児童虐待の未然防止・早期発見を行うことができ、虐待の深刻化を防止できている。		
令和4年度実績			
量的 質的	訪問・面接・電話等により庁内・庁外関係機関等と連携した件数 13,249件		
	保育施設・学校巡回、研修、要保護児童対策地域協議会各会議の実施により、庁内・庁外連携を密に行い、児童虐待の未然防止・早期発見や、虐待の深刻化防止に努めた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	数値としての評価は難しいが、要保護・要支援児童の頻回な庁内・庁外連携、会議の実施などにより、虐待の深刻化防止に努めた。
	b		
質的 結果	評価	評価理由等	庁内・庁外との密な連携により、児童虐待の未然防止・早期発見や、虐待の深刻化防止に努めた。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
56	いじめ防止に向けた取組の充実		学校指導課
事業内容			
児童・生徒が自分を大切にするとともに、他者を認め、いじめを許さない勇気を持ち、互いに思いやりをもちながら生活することができるよう、「国分寺市子どもいじめ虐待防止条例」に基づき、学校・家庭・地域が一体となっていじめ防止教育の充実に取り組む事業			
令和6年度目標			
量的	学校は認知した全てのいじめについて、対応をしている。		
質的	学校は認知したいじめについて、早期に対応をしている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	学校は、認知したすべてのいじめについて、対応をしている。		
質的	学校は認知したいじめについて、早期に対応をしている。		
令和4年度実績			
量的	学校は、子どもが嫌な思いをしたと訴えた件について、すべて聞き取りを行い、対応を図った。		
質的	学校は、児童・生徒への聞き取りや保護者との連携を、学校が丁寧に行っている。年3回のいじめに関する調査で認知した件の大半は、全校が早期対応に努めたことで対応を終え、学期末には、経過を見守る『観察中』となった。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	アンケートや日常の相談等を通して、子どもが嫌な気持ちになったと訴えた件について、まずはいじめとして認知し、その1件1件について聞き取り、対応を図った。また、サポートチーム会議を活用し、地域や関係機関との情報共有を図ることもできた。
	a		
質的	評価	評価理由等	認知したいじめの大半は、調査を行った学期中に、対応後、観察中となっており、早期の対応が図られている。一方で、いじめ防止対策審議会に諮問をしている重大事態の調査は継続しており、今後も法に基づき、適切に対応していく。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和４年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

確かな学力を育むために、通番57 習熟度別指導の「基礎コース」の工夫改善では、学校において第2次国分寺市教育ビジョンに基づく施策を着実に進めている。通番59 子ども読書活動推進計画事業では、児童・生徒の特長に合わせた学級文庫の貸出を行うことで、学校における読書環境の整備を行った。

将来の自立した生活を確保するため、全ての子どもの学びの機会が保障されるよう、通番60 生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）では、利用希望者のニーズを把握し、生活困窮者を対象とした学習支援事業として、無料学習塾を引き続き実施した。通番61 受験生チャレンジ支援貸付事業では、子どもの進路希望に沿った相談を受け、必要な貸付をしており、対象世帯にもれなく事業周知が行き届くよう、引き続き庁内関係部署との連携による事業案内や通番60の利用世帯への積極的な事業説明を行ったほか、令和4年度は新たに中学校の校長会において、保護者向けのチラシ配布について協力依頼を行い、市立中学校3年生の保護者会で事業案内のチラシ配布を行った。

特別支援教育においては、通番58 学校生活支援シートの活用の推進で、障害のある児童・生徒一人ひとりのニーズを正確に把握し、長期的な視点で一貫して的確な教育的支援を行うために、学校生活支援シートを作成し、児童・生徒の進級に合わせ引き継ぎを行っている。通番59 子ども読書活動推進計画事業では、特別支援学級への学級文庫の貸出を実施している。

豊かな心を育むために、通番62 道徳教育に関する実践的研究や研修の充実では、道徳教育の一層の推進を図るために、指導方法や指導内容の充実・改善に関する実践的研究や研修を学校の実態に応じて実施した。通番63 ジュニアサマー野外活動交流会では、令和5年度の事業実施に向け、関係者との調整や事業変更内容をまとめた。通番64 小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）では、平和祈念式を開催し、平和祈念行事として、長崎被爆体験伝承者の講話と子どもたちの発表を実施したほか、東京大空襲関係では、親子できこう平和講座や、東京空襲資料展を開催した。通番65 史跡駅伝事業においては、より多くの子どもたちがスポーツに親しめるよう、小学校1年生から参加できるよう対象を拡大し、あわせて内容を見直し実施した。通番66 国分寺市プレイステーション事業においては、自然や野外での様々な遊びを体験できる場を提供することができた。通番67 子ども対象事業では、農業体験、人形劇、上映会、星空観察など、多様な事業を実施することで、環境学習や体験学習の機会の充実を図った。通番68 児童館での学生等の職場体験・実習受入事業では、大学生のインターンシップや専門学校生の施設実習において、児童館の行事の手伝いや乳幼児親子と接することで、交流が行えたが、中学校の職場体験については、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、中止または代替として職場訪問による見学となった。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。

なお、通番58 学校生活支援シートの活用の推進では、学校生活支援シートが必要な児童・生徒の全てに作成されるよう研修会で取り上げるなど、教職員に対して、さらに周知徹底を図る必要がある。また、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策の影響により、一部事業の中止または代替実施となった通番68については、引き続き積極的に職場体験や実習の受入れを行っていく。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

通番59 子ども読書活動推進計画事業における令和6年度目標（量的目標）は、「第二中学校、第二小学校への実施」となっているが、令和4年度目標（量的目標）や実績とのつながりが読み取りづらいものとなっている。今後目標設定等を行う際には、その意図が平易に読み取れる書き方について検討されたい。

通番62 道德教育に関する実践的研究や研修の充実については、各市立小・中学校と道德教育推進委員会がどのような関係性を持ち、どのような事務の流れの中で取組を進めているのかが、令和4年度実績からは読み取りづらい内容となっていることから、今後の目標設定や実績の記載においては、その点が読み取りやすくなるよう検討されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

通番58 学校生活支援シートの活用の推進の令和4年度実績に係る評価及び課題（量的）は、「学校生活支援シートが必要な児童・生徒の全てに作成が行われるよう、さらに周知徹底を図る必要がある。」としているが、作成していない事情は、児童・生徒により異なり、周知以外の対応方法も必要であることが予想される。引き続き、個々の必要な支援を把握し、具体的な対応方法について検討されたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市による評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
57	習熟度別指導の「基礎コース」の工夫改善		学校指導課
事業内容			
市立小・中学校で算数・数学を中心に実施している習熟度別指導において、基礎的・基本的学習内容について学ぶ「基礎コース」の児童・生徒には、既習学年にさかのぼり、未定着な部分を補充する学習を行う事業			
令和6年度目標			
量的	全校が習熟度別指導の「基礎コース」を設定し、実態に応じた学習内容を計画している。		
質的	全国学力・学習状況調査の算数・数学の平均正答率が東京都平均を大幅に上回っている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	全校が習熟度別指導の「基礎コース」を設定し、実態に応じた学習内容を計画している。		
質的	全国学力・学習状況調査の算数・数学の平均正答率が東京都平均を上回っている。		
令和4年度実績			
量的	全校が、算数・数学の習熟度別のコースを設定し、児童・生徒の実態に応じた授業を工夫して行った。		
質的	小・中学校共に、東京都の平均正答率を上回っていた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	学校では、算数・数学における「基礎コース」の児童・生徒に対して、既習事項を振り返ったり、未定着な部分を補充したりなど、ICTを活用しながら児童・生徒の実態に応じた授業が工夫して行われた。
	a		
質的	評価	評価理由等	全国学力・学習状況調査の算数・数学における東京都の平均正答率と比較して、小学校では5ポイント、中学校では9ポイント上回っており、着実に習熟が図られていることが分かった。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
58	学校生活支援シートの活用の推進		学校指導課
事業内容			
障害のある児童・生徒一人ひとりのニーズを正確に把握し、長期的な視点で一貫して的確な教育的支援を行うために、学校生活支援シートを作成し、児童・生徒の進級に合わせて引き継ぐ事業			
令和6年度目標			
量的	学校生活支援シートが必要な児童・生徒の内、作成されている割合が100%になっている。		
質的	学校生活支援シートを活用して、個別の課題に応じた支援が全校で実施されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	学校生活支援シートが必要な全ての児童・生徒に作成されている。		
質的	学校生活支援シートを活用して、個別の課題に応じた支援が全校で実施されている。		
令和4年度実績			
量的	学校生活支援シートが必要な児童・生徒の内、99%が作成された。		
質的	第2次国分寺市教育ビジョンの点検・評価に関する学校へのアンケートにおいて、「学校生活シートが必要な児童・生徒に作成し、活用している」という問いに、全ての学校が肯定的な回答をしている。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	昨年度（令和3年度）に引き続き100%に近い作成率となっているが、わずかに未作成となっていることもあり、学校生活支援シートが必要な児童・生徒の全てに作成が行われるよう、さらに周知徹底を図る必要がある。
	b		
質的	評価	評価理由等	令和4年2月に策定をした「第4次国分寺市特別支援教育基本計画（義務教育時）」にも、「学校生活支援シート及び個別指導計画の効果的な活用の推進」を掲げており、本計画の内容について、全校の教職員への啓発に引き続き努めていく必要がある。
	b		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
59	子ども読書活動推進計画事業		図書館課
事業内容			
読書を通じた子どもの情緒や感情の育成, 子どもの成長に合わせた語彙力・読書力の向上, 読書による自己能力と自己解決力の向上を目指して子どもの読書環境の整備を図る。 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもへの支援として, 特別支援学級への学級文庫の定期設置やそのPR, 図書館内の読書環境の整備を行う。			
令和6年度目標			
量的	第二中学校, 第二小学校への実施。		
質的	学校と連携を図り, 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもの読書環境の整備や支援が拡充されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	特別支援学級への学級文庫の貸出を, 令和3年度に行った第二小学校, 第三中学校に加え, その他の小中学校の特別支援学級にも行う。		
質的	学校と連携を図り, 読書活動や図書館利用に配慮が必要な子どもの読書環境の整備を行うことにより支援が拡充されている。		
令和4年度実績			
量的	第三中学校・第二小学校に加え, 第七小学校の特別支援学級にも新たに学級文庫の貸出を実施した。		
質的	既に特別支援学級への学級文庫の貸出を実施している学校の意見・反応を反映させて新しいセットの図書を選定した。文字の読解や内容の理解が苦手な児童・生徒に向けて, 絵や写真を使ってわかりやすく書かれている「LLブック」も導入した。多様な本に触れることで, 児童・生徒の興味関心の幅が広がり, 読書の楽しさを体感できたとの反応が得られた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	第三中学校・第二小学校への貸出に加えて第七小学校の特別支援学級への学級文庫の貸出を行った。
	a		
質的	評価	評価理由等	支援が必要な児童・生徒のために, より理解しやすいLLブックを導入した。また, 対象校の児童には, ニーズを丁寧に聴き取り図書の選定に反映した。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は, 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
60	生活困窮者自立支援事業（学習支援事業）		生活福祉課
事業内容			
家庭の経済的な事情で学習塾に通えない、家庭教師がつけられない小学校3年生から中学校3年生を対象に、ボランティア講師による個別指導、交流行事や地域イベントへの参加を通じた学習支援・居場所づくりを行う。			
令和6年度目標			
量的	新規相談者数 55人 利用者数 44人		
	学習習慣が定着し、居場所ができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	新規相談者数 50人 利用者数 40人		
	学習習慣が定着し、居場所ができている。		
令和4年度実績			
量的	新規相談者数（世帯） 46人（37世帯） 利用者数 48人		
	学習習慣が定着し、居場所ができた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	新規の相談者数は目標の8割を達成し、利用者数は目標を達成したため。
	a		
質的	評価	評価理由等	利用者のニーズや状況に合わせた学習支援を行ったため学習習慣の定着と居場所の確保につながった。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
61	受験生チャレンジ支援貸付事業		生活福祉課
事業内容			
一定所得以下の世帯の子どもへの学習などの支援を目的とし、学習塾などの費用や、高校や大学などの受験費用について貸付けを行う事業。貸付対象である学校へ入学した場合、免除申請を行うことにより返済が免除（償還免除）される。			
令和6年度目標			
量的	相談件数：841件 貸付決定件数：84件		
	進学を希望する子どもが進学できている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	相談件数：490件 貸付決定件数：63件		
	進学を希望する子どもが進学できている。		
令和4年度実績			
量的	相談件数：611件 貸付決定件数：79件		
	進学を希望する子どもが進学できた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	市報・市HP等だけでなく、市教育委員会・中学校と連携し、市立の中学3年生の保護者会で事業案内のチラシを配布するなど事業周知に努めたことで、相談件数及び貸付決定件数ともに目標を上回った。
	a		
質的	評価	評価理由等	学習塾等受講料及び受験料を貸し付けたことにより、進学を希望する子どもの進学に寄与することができた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和４年度）

通番	事業名		所管課
62	道徳教育に関する実践的研究や研修の充実		学校指導課
事業内容			
市立小・中学校における道徳教育の一層の推進を図るために、指導方法や指導内容の充実・改善に関する実践的研究や研修を実施する。			
令和6年度目標			
量的 質的	全校が道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施できている。		
	道徳教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的 質的	全校が道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施できている。		
	道徳教育推進委員会において指導資料等を作成し、全校に周知している。		
令和4年度実績			
量的 質的	全校が道徳教育の全体計画と年間指導計画を作成し、計画に基づき実施した。		
	道徳教育推進委員会において作成した指導資料を、各校の道徳教育推進委員を通して、各校に周知した。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	全校が前年度の計画を見直し、全体計画や年間指導計画を改善した。また、これらの計画に基づき、各校の実態に応じた取組を進めることができた。
	a		
質的	評価	評価理由等	道徳教育推進委員会では、研究授業を通じた実践的な事例を基に、指導資料を作成し、道徳教育推進委員を通して、各校に周知した。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
63	ジュニアサマー野外活動交流会		スポーツ振興課
事業内容			
平成元年に国分寺市と旧真野町が姉妹都市の盟約を結んだことをきっかけとして、国分寺市の小・中学生が佐渡の自然や文化に触れる機会を創出することで、佐渡市との友好関係を次世代に引き継いでいくとともに、佐渡市の子どもたちと一緒にスポーツなどの活動を通して交流を深めることを目的とする。			
令和6年度目標			
量的	国分寺市参加者数：30人		
	佐渡市の子どもたちとの交流が図られている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	令和4年度は新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響もあり、事業を中止とすることが決定した。令和2年度から令和4年度まで3年連続で中止となるため、より安全性を高め、また、より参加者の満足度が高まる内容とするため、事業の見直しを行う。		
	事業の見直しを行うにあたって、佐渡市と国分寺市との関係性を、確認するとともに、事業内容についても佐渡市とのさらなる交流促進に向け検討を進める。		
令和4年度実績			
量的	コロナ禍においても事業が実施できるよう、また、更なる安全性の担保に向け、子どもだけでなく、保護者同伴で参加してもらう仕組みとするなど、次年度の事業内容の見直しを行った。		
	事業変更に伴い佐渡市側と調整をする中で、庁内及び佐渡市側関係者と改めて本事業を行う意義を確認した。あわせて、次年度は子どもだけでなく保護者も参加して佐渡市との交流ができるよう企画・検討を行った。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和5年度の事業実施に向けて、事業の安全性を担保できるよう、佐渡市やその他関係者と調整を行い、事業内容を見直し、変更する内容をまとめた。
	a		
質的	評価	評価理由等	事業内容変更に際しては、事業実施の必要性を確認し佐渡市等と調整を行い、改めて目標に掲げた姉妹都市との関係性を深めることができた。また、コロナ禍でも対応できるよう対象者変更等事業内容を変更しながら、佐渡市との交流が図られるよう事業組み立てを行った。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
64	小・中学生被爆地派遣（ピースメッセンジャー）		人権平和課
事業内容			
次世代を担う子どもたちを被爆地へ派遣し、平和記念式典への参加や被爆体験者の講話の聴講、原爆関連施設等を見学することを通じて、核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについての認識を深め、平和をつくる意識を醸成する。			
令和6年度目標			
量的 質的	年1回実施		
	児童・生徒が被爆地で様々な体験をすることにより、核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについて認識を深めている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的 質的	年1回実施		
	児童・生徒が被爆地で様々な体験をすることにより、核兵器と戦争の悲惨さ及び平和の大切さについて認識を深めている。		
令和4年度実績			
量的 質的	令和4年度は、8月5日～7日で3年ぶりに被爆地広島派遣を行うことができた。被爆地広島派遣に参加した児童・生徒や保護者からも、平和への思いをつなぐことができたことへの評価を受けた。		
	被爆地広島の中学生・高校生との交流や各平和関連施設の訪問を通じ、命の尊さと平和の大切さを学んだ。 令和4年度においては、3年ぶりの派遣ということで、全国の参加者と平和の大切さについて意見交換ができ、参加した子どもたちも多くの気づきや感じるがあった。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	3年ぶりにピースメッセンジャーを実施でき、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策実施以前と同様に行程を終えることができた。 参加した子どもたちの平和への理解度を考慮した、内容や時間について検討する必要がある。
	a		
量的 質的	評価	評価理由等	コロナ以前のように、被爆地広島の中学生・高校生と交流することや、平和関連各施設を訪れ、平和の大切さを学ぶ機会を提供することができたため。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
65	史跡駅伝事業		スポーツ振興課
事業内容			
歴史や自然等，国分寺で魅力あふれる史跡武蔵国分寺跡周辺で，市内小・中学生による駅伝を実施する。			
令和6年度目標			
量的	小学生40組 中学生40組		
	歴史や自然を生かしたスポーツイベントを開催するとともに，小・中学生の体力・競技力の向上が図られている。		
質的			
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	より多くの市民（特に子どもたち）が参加することができて，参加者の満足度がより高まるようにするため，これまでは，参加対象が小学5・6年生と中学生だった種目を小学1年生から参加できるように見直す。		
	実施に当たっては，スポーツ関係団体や関係各所と調整を進め，史跡をコースに取り入れて歴史を感じるができるものにとともに，小・中学生がより参加しやすく，楽しめるものとなるよう実施内容を見直す。		
質的			
令和4年度実績			
量的	令和元年度までの史跡駅伝の内容を見直し，より多くの市民（特に子どもたち）が参加できる実施内容とした。具体的には，これまでの小学5・6年生だけでなく，小学3・4年生も参加できるようにし，小学1・2年生も保護者と一緒に出場できるようにした。また，中学生以上対象として個人レース部門も新設した。		
	史跡を駅伝コースに取り入れ，歴史を感じるものにとともに，保護者と小学1・2年生が一緒に走るファミリーランを新設し，より児童がスポーツに親しめるよう工夫した。		
質的			
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和元年度までの史跡駅伝の内容を見直し，より広く市民（特に子どもたち）が参加できる実施内容に見直しを行い，実施することができたため。
	a		
質的	評価	評価理由等	史跡を駅伝コースに取り入れ，歴史を感じるものにとともに，保護者と小学1・2年生と一緒に走るファミリーランを新設し，より児童がスポーツに親しめるよう実施することができた。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は，令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和４年度）

通番	事業名		所管課
66	国分寺市プレイステーション事業		子ども子育て支援課
事業内容			
青少年が生き生きと安全に遊べる冒険遊び場として、国分寺市プレイステーションを運営する。			
令和６年度目標			
量的	年間来場者数：15,000人		
	青少年が自然や野外での遊びを体験できる場を提供できている。		
令和６年度目標達成に向けた令和４年度目標			
量的	年間来場者数：15,000人		
	青少年が自然や野外での遊びを体験できる場を提供できている。		
令和４年度実績			
量的	年間来場者数：25,096人		
	野外の遊び場のなかで、土や水などを使った遊びをはじめ、木工作、炭づくり等の火を使った体験、ひみつ基地づくりなど、自然や野外での様々な遊びを体験できる場を提供することができた。		
令和４年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	自然や野外での様々な遊びを体験できる場を創意工夫をしながら提供することにより、全体の利用者数の増加につながった。
	a		
質的	評価	評価理由等	野外の遊び場のなかで、土や水などを使った遊びをはじめ、木工作、炭づくり等の火を使った体験、ひみつ基地づくりなど、自然や野外での様々な遊びを体験できる場の提供に尽力した。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和６年度の目標を達成した。又は、令和６年度目標に向けた令和４年度目標を達成した。
	A		B：令和６年度目標に向けた令和４年度目標をおおむね達成した。
			C：令和６年度目標に向けた令和４年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
67	子ども対象事業		公民館課
事業内容			
子どもたちの豊かな心を育むために、芸術、文化、科学、スポーツなどあらゆる分野の学びの機会を提供する。			
令和6年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で25事業以上の子ども対象事業を実施。		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	公民館全5館で子ども対象事業を実施。全館で10事業以上の子ども対象事業を実施。		
質的	公民館全5館で実施する子ども対象事業を通して、芸術、文化、科学、スポーツなどの教育機会が提供され、事業の平均満足度が80%以上となっている。		
令和4年度実績			
量的	全館合計で28事業の子ども対象事業を実施。		
質的	5館平均満足度 96.12%		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	令和3年度に引き続き新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策に努めながら5館それぞれの施設の特徴を生かし、地域性を考慮した事業の実施に努めたことで目標を達成できた。
	a		
質的	評価	評価理由等	実施した事業については、それぞれ参加者から概ね高い満足度が得られた。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
68	児童館での学生等の職場体験・実習受入事業		子ども子育て支援課
事業内容			
地域に開かれた児童館として、中・高校生世代、大学生等を対象とした職場体験及び実習の受入れを行う。			
令和6年度目標			
量的	職場体験及び施設実習の受入人数：合計60人		
	児童館の仕事を幅広く体験できるような体験・実習の活動内容となっており、参加者にとって貴重な学びの機会となっている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	職場体験及び施設実習の受入人数：合計36人		
	児童館の仕事を幅広く体験できるような体験・実習の活動内容となっており、参加者にとって貴重な学びの機会となっている。		
令和4年度実績			
量的	職場体験及び施設実習の受入人数：合計3人		
	児童館の仕事を幅広く体験できるよう職員がプログラムを立て、工作行事や乳幼児の親子との触れ合い等様々なことを体験し、参加者にとって貴重な学びの機会となった。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	大学生のインターンシップ2人、専門学校生施設実習1人の受入れを実施することができたが、中学校の職場体験については、新型コロナウイルス感染症感染拡大防止対策の影響で中止となったものや、職場体験を職場訪問に変更した学校もあり、目標数値には届かなかった。
	C		
質的	評価	評価理由等	大学生のインターンシップや専門学校生の施設実習を受け入れ、児童館の仕事を幅広く体験したことで、子どもたちと学生の交流が行え、学生にとっても子どもたちにとっても貴重な学びの場となった。
	b		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

国分寺市による評価

1 個別事業の実施状況

別紙「重点事業評価シート（令和4年度）」のとおり

2 施策の方向性に係る実施状況

若年無業者（ニート）やひきこもりなどで悩む若者や家族に対し、通番69 若者支援事業においては、コロナ禍であってもひきこもりなどで悩む若者や家族が支援を受けられるよう、対面とオンラインによるハイブリッド方式で家族セミナー及び希望者への個別相談を実施した。また、支援者同士の連携充実に資するよう、会議や研修を実施した。

自立に困難を有する若者やその家族が、必要な時に必要なサービスを利用できるよう、市の相談窓口をホームページで周知したほか、支援機関が開催するイベント等の情報については、チラシの配架やSNSを活用し周知した。その他、自立に困難を有する若者やその家族には、地域の身近な住民による支援も必要であることから、地域住民との関わりが多くある委員が参加している若者支援地域ネットワーク会議において、困難を有する若者に対して直接支援を行うだけでなく、困っている方を相談窓口や相談機関に「つなげる役割」の重要性も伝え、ネットワーク内での役割の認識共有を図った。

悩みを持った児童・生徒・保護者が相談しやすい体制や環境を整えるため、担任だけで抱え込むことのないような組織的相談体制の構築に努めたほか、全校に配置しているスクールカウンセラーが、専門的な見地から相談活動を行った。

不登校児童・生徒に対しては、通番70 不登校児童・生徒への支援の充実において、トライルームにより、児童・生徒の状況に応じて在籍校への訪問や担任等と面接を行うなど、学校復帰に向けて学校と密に連携を取り、スモールステップの取組を行うことで、継続的な保護者の相談、児童・生徒への対応の充実を図った。また、全校に設置しているサポート教室の利用についても、状況に応じて提案した。

学校教育においては、市立小・中学校全校で「キャリアパスポート」（児童・生徒自らが記録し、学期、学年、入学から卒業までの学習を見通し、振り返ることができるように保管するポートフォリオのこと）を作成し、発達の段階に応じて適宜活用しながら、キャリア教育の推進に努めた。

3 施策の進捗状況

おおむね順調に進んでいる。なお、通番69 若者支援事業においては、量的実績は目標値を下回っているが、質的実績と施策の方向性に係る実施状況から、上記のとおりと判断した。

国分寺市子ども・子育て会議の評価

1 個別事業の実施状況

通番70 不登校児童・生徒への支援の充実における令和6年度目標（量的目標）は、「児童・生徒の通室数をできる限り増やす。」となっているが、この目標に向けてどのような取組によって通室する人数を増やそうとしていたのかが令和4年度目標からは読み取ることができなかった。今後、目標設定等を行う際には、その目標達成に向けた取組の記載についても検討されたい。

2 施策の方向性に係る実施状況

通番70 不登校児童・生徒への支援の充実については、当該事業を必要としている児童・生徒や保護者に対し、引き続き丁寧な情報共有をはじめ個々に合わせた支援を行うとともに、関係する各支援者と緊密な連携を図ることで、より多くの児童・生徒に活用されるようその仕組みについて検討されたい。

3 施策の進捗状況

「国分寺市の評価」のとおりとする。

重点事業評価シート（令和４年度）

通番	事業名		所管課
69	若者支援事業		子ども若者計画課
事業内容			
<p>社会生活を円滑に営む上で困難を抱える若者について自立に向けた支援を行うため、庁内関係課と各種専門的な支援を行う機関や地域で活動する団体で構成する国分寺市若者支援地域ネットワークで連携し、包括的支援を継続的に行う。当事者とともにその家族への支援を行うため、相談会等を実施する。地域の各種機関によるネットワークの強化を図り、関係機関の連携を更に推進するとともに、地域で支えるしくみを構築する。</p>			
令和6年度目標			
量的	相談窓口利用件数：30件 個別相談会及び研修会実施回数：3回		
	地域に暮らす全ての人が、当事者を正しく理解し支えることができるよう、講演会など理解を深める取組が実施されている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的	相談窓口利用件数：25件 個別相談会1回・研修会1回：計2回		
	地域の各種機関によるネットワークの更なる強化を推進するため、若者支援地域ネットワーク会議を開催し、情報共有を図る。ひきこもり等の相談に対し、関係機関等と連携・対応し、適切な支援先へつなぐ。		
令和4年度実績			
量的	相談窓口利用件数：10件 個別相談会1回・研修会1回：計2回実施		
	地域の各種機関によるネットワークの更なる強化を推進するため、若者支援地域ネットワーク会議を実施し、情報共有に努めた（庁内連携会議2回、実務者会議4回）。ひきこもり等の相談対応の際に、当事者や相談者を適切な支援先へつなぐように努めた。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的	評価	評価理由等	個別相談会及び研修会については、当初の予定回数通り実施できたが、相談窓口利用件数は目標値を下回った。
	C		
質的	評価	評価理由等	若者支援地域ネットワーク会議の実施、情報共有のみに留まらず、ひきこもり等の相談対応時も若者支援地域ネットワーク会議の委員と相談・連携してつなぎ先を探すなど、当事者や相談者を適切な支援先へつなぐように努めた。
	a		
結果	評価	評価指標	A：令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	B		B：令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C：令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様

重点事業評価シート（令和4年度）

通番	事業名		所管課
70	不登校児童・生徒への支援の充実		学校指導課
事業内容			
不登校問題に対応するために、適応指導教室（トライルーム）において、体験活動等を通して、児童・生徒一人ひとりと向き合い、学校復帰と社会的自立を目指す指導を実施する事業			
*「適応指導教室（トライルーム）」は、名称を変更し、令和4年4月1日から「トライルーム」として事業を実施しています。			
令和6年度目標			
量的 質的	不登校の状況にある児童・生徒の通室数をできる限り増やす。		
	不登校児童・生徒が支援により学校復帰することができている。		
令和6年度目標達成に向けた令和4年度目標			
量的 質的	不登校の状況にある児童・生徒の中で、トライルームに通室する人数が増えている。		
	トライルームでは、不登校児童・生徒の状況が、好転傾向に改善されるよう、継続的な支援に努めている。		
令和4年度実績			
量的 質的	トライルーム通室の人数は、令和3年度は小学生3名、中学生37名の計40名だったが、令和4年度は、小学生7名、中学生38名の計45名となり、5名の増加となった。		
	トライルームでは、児童・生徒の状況に応じて、在籍校への訪問や、担任等と面接を行うなど、学校復帰に向けてスモールステップの取組を行った。トライルーム2か所に対応していることで保護者にとっても相談しやすい体制となっている。また、全校に設置しているサポート教室の利用についても、状況に応じて提案した。		
令和4年度実績に係る評価及び課題			
量的 質的	評価	評価理由等	不登校児童・生徒にトライルームの利用について、学校から働きかけを行うとともに、保護者からのトライルームへの相談についても担当者が丁寧に対応したことで利用人数が増加した。
	a		
質的 結果	評価	評価理由等	学校と連携を図りながら、中学校3年生の進路指導について丁寧に指導、支援を行ってきた。その結果、卒業までに全員が進路を決定することができた。
	a		
結果	評価	評価指標	A: 令和6年度の目標を達成した。又は、令和6年度目標に向けた令和4年度目標を達成した。
	A		B: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標をおおむね達成した。
			C: 令和6年度目標に向けた令和4年度目標を下回った。
			※ a, b及びcの評価指標についても同様





子ども・子育て支援事業計画
評価書
(計画第5章評価部分)

1 幼稚園，保育所，認定こども園，地域型保育事業等

国分寺市は、これまで計画に基づいて認可保育所の整備を行い、利用定員を拡充してきたことで待機児童は減少傾向にある。また、令和4年度には、計画と実態との乖離状況について確認し、本計画の中間見直しを行うことで、令和6年度に待機児童を解消するための対策が講じられているところである。今後も量の見込みの推移に注視しながら、引き続き、計画に基づいた事業の実施を進められたい。

2 地域子ども・子育て支援事業

(3)「放課後児童健全育成事業(学童保育所)」については、民設民営学童保育所において小学4年生の受入れを試行実施しているが、小学1年生から3年生で定員に達している施設や、施設がない小学校区域もあるのが現状である。高学年を含め、学童保育所を必要としている児童が利用できるように、各小学校区域にどれだけの量の見込みがあるのかその実態把握に努められたい。

(4)放課後子どもプラン(放課後子供教室)については、市が「放課後子どもプラン実施委員会」(以下「実施委員会」という。)に委託し、事業実施しているが、新型コロナウイルス感染症が落ち着きを見せたことに伴い、実施日数が前年と比較して大幅に増加していることや、ニーズ拡大による参加者の増加も見られ、実施委員会の事務等の負担増が懸念される。市は、実施委員会の意見等を受け止め、然るべき対応に努められたい。

(10)「病児保育事業(病児・病後児保育事業)」については、量の見込みに対して、十分な量の確保ができている実績となっているが、事業の利用しづらさなどから、利用を控えられていることも予想される。今後も引き続き事業を実施するに当たっては、利用者からの意見等を把握し、利便性の向上に努められたい。

3

教育・保育の一体的提供及び推進等に関する事項

引き続き事業の実施に努められたい。

4

その他の取組

(3)「子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する東京都との連携」については、障害児等特別な支援を必要とする子どもが、希望する教育・保育を円滑に受けられるようにするため、市は、事業者や関係機関との連携が重要である。その連携を強化するに当たっては、市と事業者間におけるさらなる円滑な情報共有や、相談対応の充実が期待されるが、現状においても担当する市職員の負担の大きさが懸念されることから、職員の体制強化等の改善に努められたい。

(6)「保育士等の確保・定着」について、保護者が保育士・幼稚園教諭・保育教諭（以下「保育士等」という。）の免許を有し、認可保育所等の保育施設において保育に従事している、または従事することが決まっている者が保育所等に入所申込みをした場合に加点されるその仕組みは、保育士等の安定的な確保及び定着に大きな影響を与えており評価できる。一方で、他自治体の中には、同様の仕組みがないために、円滑な職場復帰が実現できない場合もあることから、どこに住んでいても同様の仕組みを活用できるよう他自治体との連携強化を図り、改善に努められたい。

また、保育士等の人材を確保するためには、多額の費用が掛る現状があり、その費用負担は、保育施設や幼稚園の運営事業者に大きな負担があることから、その負担軽減に向けた仕組みについて検討されたい。





子ども・子育て支援事業計画
実績値等
(計画第5章評価部分)

計画						
	1号認定	2号認定	3号認定			
			2歳	1歳	0歳	
児童数（推計）	3,213		1,062	1,059	1,008	
量の見込み（A）	1,347	1,866	620	608	311	
確保方策						
特定教育・保育施設	幼稚園 保育所 認定こども園	71	2,048	638	570	302
未移行幼稚園	上記以外の幼稚園	1,276	-	-	-	-
特定地域型保育事業	小規模保育， 家庭的保育， 居宅訪問型保育， 事業所内保育等	-	-	8	8	4
企業主導型保育施設の地域枠		-	0	8	8	3
認可外保育施設	認証保育所など 上記以外の施設	-	54	38	28	15
確保方策合計（B）		1,347	2,102	692	614	324
過不足（C） = （B） - （A）		0	236	72	6	13
3号認定保育利用率（%） （D） = （B） / 児童数（推計）		-	-	65.1	57.9	32.1
当該年度までに新たに確保する量						
特定保育施設（E）		0	0	0	0	0
確保後の過不足（C） + （E）		0	236	72	6	13

実績						
	1号認定	2号認定	3号認定			
			2歳	1歳	0歳	
児童数	3,352		1,020	1,024	975	
量の見込み（A）	1,411	1,795	648	673	311	
確保方策						
特定教育・保育施設	幼稚園 保育所 認定こども園	121	2,045	641	561	305
未移行幼稚園	上記以外の幼稚園	1,290	-	-	-	-
特定地域型保育事業	小規模保育， 家庭的保育， 居宅訪問型保育， 事業所内保育等	-	-	8	8	4
企業主導型保育施設の地域枠		-	0	8	8	3
認可外保育施設	認証保育所など 上記以外の施設	-	40	33	40	12
確保方策合計（B）		1,411	2,085	690	617	324
過不足（C） = （B） - （A）		0	290	42	▲56	13
3号認定保育利用率（%） （D） = （B） / 児童数		-	-	67.6	60.2	33.2
当該年度までに新たに確保する量						
特定保育施設（E）		0	0	0	0	0
確保後の過不足（C） + （E）		0	290	42	▲56	13

(1) 利用者支援事業		
≪基本型・特定型≫		【か所数】
	計画	実績
量の見込み (A)	5	4
基本型	4	3
特定型	1	1
確保方策 (B)	4	3
基本型	3	2
特定型	1	1
差引 (B) - (A)	▲ 1	▲ 1
≪母子保健型≫		【か所数】
	計画	実績
量の見込み (A)	1	1
母子保健型	1	1
確保方策 (B)	1	1
母子保健型	1	1
差引 (B) - (A)	0	0

(2) 時間外保育事業		
	【人】	
	計画	実績
量の見込み (A)	808	409
確保方策 (B)	3,558	3,551
差引 (B) - (A)	2,750	3,142

(3) 放課後児童健全育成事業 (学童保育所)		
	【人】	
	計画	実績
量の見込み (A)	1,558	1,616
低学年	1,373	1,592
高学年	185	24
確保方策 (B)	1,377	1,397
低学年	1,355	1,360
高学年	22	37
過不足 (C) = (B) - (A)	▲ 181	▲ 219
低学年	▲ 18	▲ 232
高学年	▲ 163	13
当該年度までに新たに確保する量 (D)	80	0
低学年	80	0
高学年	0	0
確保後の過不足 (C) + (D)	▲ 101	▲ 219
低学年	62	▲ 232
高学年	▲ 163	13

(4) 放課後子どもプラン
(放課後子供教室)

【延べ利用人数(人日)】

	計画	実績
量の見込み(A)	88,000	82,192
確保方策(B)	88,000	82,192
差引(B) - (A)	0	0

(5) 子育て短期支援事業
(ショートステイ事業)

【延べ利用人数(人日)】

	計画	実績
量の見込み(A)	41	61
確保方策(B)	362	359
差引(B) - (A)	321	298

(6) 乳児家庭全戸訪問事業

【延べ訪問人数】

	計画	実績
量の見込み(A)	1,190	930
確保方策(B)	1,190	930
差引(B) - (A)	0	0

(7) 養育支援訪問事業

【延べ訪問世帯数】

	計画	実績
量の見込み(A)	112	81
確保方策(B)	112	97
差引(B) - (A)	0	16

(8) 地域子育て支援拠点事業

【延べ利用人数】

	計画	実績
量の見込み(A)	57,685	48,074
確保方策(B)	56,383	48,074
実施か所数	9か所	8か所
差引(B) - (A)	▲ 1,302	0

(9) 一時預かり事業			
【延べ利用人数 (人日)】			
	計画	実績	
量の見込み (A)	28,348	41,424	
幼稚園型	1号認定による利用	8,013	20,702
	2号認定による利用	5,356	19,404
幼稚園型以外	14,979	1,318	
確保方策 (B)	28,919	41,424	
幼稚園型	1号認定による利用	8,013	20,702
	2号認定による利用	5,356	19,404
幼稚園型以外	15,550	1,318	
確保方策 (B) - (A)	571	0	
幼稚園型	1号認定による利用	0	0
	2号認定による利用	0	0
幼稚園型以外	571	0	

(10) 病児保育事業 (病児・病後児保育事業)		
【延べ利用人数 (人日)】		
	計画	実績
量の見込み (A)	1,999	312
確保方策 (B)	5,280	5,280
差引 (B) - (A)	3,281	4,968

(11) ファミリー・サポート・センター事業		
【延べ利用人数 (人日)】		
	計画	実績
量の見込み (A)	5,878	4,515
確保方策 (B)	5,878	4,515
差引 (B) - (A)	0	0

(12) 妊婦健康診査事業		
【(人)】		
	計画	実績
量の見込み (A)	1,019	872
確保方策 (B)	1,019	872
差引 (B) - (A)	0	0

(13) 多様な主体が本制度に参入することを促進するための事業

市内に新規設置された保育施設を含め保育施設等が円滑に運営することができるよう、基幹型保育所の保育士が相談・助言等を行っている。

令和4年度は新規設置された2施設に対し、相談・助言等を実施した。

(14) 実費徴収に係る補足給付を行う事業（副食費）

【延べ対象者数】

実費徴収に係る補足給付を行う事業（日用品・文房具等）		人
実費徴収に係る補足給付を行う事業（副食費）	284	人

(1) 認定こども園の普及に係る考え方

既存の幼稚園においては、新制度への移行と認定こども園化の意向が見られないため、実績として市内の設置に至っていない。また、当市の待機児童の解消に係る方針としては、保育所の整備を第一義的に進めてきたこともあり、認定こども園の設置については現状予定していない。

(2) 教育・保育と小学校教育の円滑な接続の在り方について

卒園を迎える年度の児童に対し、就学への期待を高めるため基幹型保育所システム事業の一環として、学校訪問事業を計画し、全校で実施した。令和4年度から小学校がより身近な存在になるように、校庭への散歩も実施した。また、保育士と教師との情報交換の場として、連絡会を開催した。

(3) 子育てのための施設等利用給付の円滑な実施の確保

施設等利用給付教育時間部分について公正かつ適正な支給を確保した。また、保護者の利便性を勘案しつつ、法定代理受領又は償還払いの給付方法、請求時期等についての周知、施設及び保護者からの問い合わせについても対応を行った。

(1) 教育・保育の質の維持・向上等に係る取組の推進

基幹型保育所システム事業を通じて、提供する保育の質の維持・向上を図るため、市内保育施設職員を対象とした7回の研修事業、エリアごとの各種連絡会（保育士・栄養士・看護職）を実施した。新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、集合形式にて実施できなかったものについては、オンラインに切り替えて対応した。

(2) 産後の休業及び育児休業後における特定教育・保育施設等の円滑な利用の確保の推進

保護者の産休・育休明けの希望に応じて、円滑に教育・保育施設、地域型保育事業を利用できるように、施設サービスの情報提供を行った。また、市が申込窓口となる保育施設・地域型保育事業については、空き状況を把握し、見学の際のポイントなども情報提供を実施した。

(3) 子どもに関する専門的な知識及び技術を要する支援に関する東京都との連携

児童虐待防止対策の充実については、市内公民館、小中学校などに、国や東京都の児童虐待防止に関するポスターやリーフレットを配架し、児童虐待防止に向け、理解が深まるよう周知を図った。

母子家庭及び父子家庭の自立支援の推進では、国や東京都において、未婚のひとり親のみなし寡婦（夫）適用に係る規定について所要の見直しや、ひとり親家庭の自立支援の促進に向けて制度の充実が図られ、要綱改正が実施されたことを受け、本市においても「自立支援教育訓練給付金事業」、「高等職業訓練促進給付金等事業」、「高等学校卒業程度認定試験合格支援事業」の規則改正を行った。令和5年度も国・都の動向を注視し、適切に対応を行う。

障害児施策の充実等については、東京都と連携を取りながら、障害児を支援する事業所の開設を事業者呼び掛けしたことで、障害児相談支援事業所2箇所を新規開設できた。また、重症心身障害児を支援する事業所の開設に向けた準備を行うなど障害児支援体制の整備を進めた。障害者地域自立支援協議会の相談支援部会に設置している障害児通所支援事業所連絡会では、各事業所が抱える課題を共有し協議を行うなど、障害特性に応じた適切な支援の推進に向け、各事業所との連携を図った。そのほか、医療的ケア児及び家族の実態把握のための聞き取り調査を対面で行い、国分寺市医療的ケア児支援関係者会議において、結果の共有と検討を行った。当該検討内容については、東京都の医療的ケア児等支援担当者連絡会にて報告を行った。障害児等特別な支援を必要とする子どもが、希望する教育・保育を円滑に受けることができるように、また関係機関との円滑な連携を図ることを目指して、市内保育施設職員対象にこどもの発達センターつくしんぼの通園事業見学会を全5回を計画した。実際には、新型コロナウイルス感染症拡大防止対策のため、4回実施、1回中止となった。また、令和4年度から、職員が通園の療育を体験できる、体験会も2回実施した。

(4) 労働者の職業生活と家庭生活との両立に必要な雇用環境整備施策との連携

令和4年度は、男女平等推進センター主催女性の再就職支援講座として、ライフイベントがキャリア形成に与える影響を学び、各自の生活スタイルに合わせた多様な働き方を考える講座を開催した。参加者からは、再就職・転職に前向きになったとの評価があり、参加者にとって有益な講座を提供することができた。

(5) 要保護児童対策地域協議会実施による関係機関連携の強化

要保護児童対策地域協議会による関係機関連携について、代表者会議・実務者会議の定例会を各1回開催し、要保護児童の現状や対応状況について情報共有した。また、実務者会議進行管理部会を年5回開催し、要保護児童の進行管理を実施した。個別のケースの検討については、個別ケース検討会議を年52回実施し、関係機関と密な連携を図った。

(6) 保育士等の確保・定着

保育士等の確保及び定着につながる取組としては、市内認可保育所の全施設に対し、保育士等の処遇改善を図る処遇改善等加算の補助を行い、市内で保育施設を運営する法人が、雇用する保育士等向けに宿舍を借り上げた場合に、その経費の一部を補助する宿舍借上支援事業を行った（令和4年度実績：37園，181戸）。加えて、保育所等の入所選考に係る「保育の実施基準指数表」の「調整指数表」において、保護者が「保育士・幼稚園教諭・保育教諭の免許を有するものであって、市内の認可保育所，地域型保育事業，認証保育所若しくは認可外保育施設（内閣府または都知事に届け出ている施設に限る。）において保育に従事している，又は従事することが決まっているものが入所（転所を除く。）の申込みをする場合」に該当した場合，6点の加点を行い，「保育士・幼稚園教諭・保育教諭の免許を有するものであって，認可保育所，認定子ども園，地域型保育事業，認証保育所若しくは認可外保育施設（内閣府または都道府県知事に届け出ている施設に限る。）において保育に従事している，または従事することが決まっている者が入所（転所を除く。）の申込みをする場合」に該当した場合，4点の加点を行った。



